



○議長(楠本正隆君) 歲出經常部甲號 修正ガゴザイマセヌニ依シテ一括  
ヲシテ議題ニ供シマス

○河島醇君(十番) 登壇ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 宜シ

(河島醇君演壇ニ登ル)

○河島醇君(十番) 諸君、私ハ豫算委員會ニ於キマシテ此第三科ノ主査即チ大藏省所管ノコトヲ擔任致シタノデゴザリマス、此追加豫算ニ對シマシテハ先刻委員長ヨリ報告ヲ致サレタ如ク悉ク原案ニ贊成ヲ致シタヤウニナシテ居リマス、即チ大藏省所管ノ部ニ於キマシテモ甲乙號、其他特別會計、國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ屬スルモノ、如キハ是ハ原案ニ贊成ヲ致スコトニナツテ居ル、併ナガラ原案ニ贊成ヲ致シマスルニ就イテ特別ニ御報告ヲ致ス必要ハナイ如クデゴザリマスケレドモ、茲ニ一言諸君ニ向ツテ御報告致シテ置カナケレバナラヌコトガゴザリマス、ソレハ何アルカト申シテ見レバ此經常歲出乙號ノ部類ニハ國庫豫備費二十萬圓ヲ二十七年度ニ追加豫算トシテ要求ニナツテ居リマス、定テ諸君ノ御手許ニ迴ツテ居ル所ノ原案ニ就イテ御熟讀ニナツテ居ルコトニアラウト考ヘテ居リマス、此二十萬圓ヲ國庫豫備費トシテ請求セラレタ所ノ理由ハ何アルカト云ヘバ、此度起シタル所ノ日清ノ關係及朝鮮ニ對スル所ノ關係等ニ就イテ臨時ノ費用ヲ要スルト云フノガ是ガ要求ノ精神デゴザリマス、而シテ此豫算費外ノ支出ヲ調査致シテ見マスルト豈啻ニ日清事件若クハ朝鮮事件ニ對スルノミナラズ他ニ此費用ヲ要シムモノデハナイカト云フコトガアル、ソレハ何アルカト云ヘバ、此度起シタル所ノ日清ノ關係モ此第二豫備費ヨリ支出ニナツテ居ル、拔テ第二豫備費ト云フモノハ斯ノ如キ費目ニ對シテ支出ヲスルモノデゴザリマセウカ、日清事件及朝鮮事件ニ對スル所ノ費目ニ支出ヲスルハ理ノ當然デアルガ、彼ノ築港費ニ對シテ此豫備費ハ支出スペキモノデアラウカ、是レーノ疑問デゴザリマス、而シテ又此費目ノミナラズ政府ハ豫備費ノ外ドウ云フコトヲシテ居ルカト申シテ見マスレバ、則チ尙ホ國庫餘利金ノ中ヨリ數十万圓ノ金額ヲ更ニ支出致シテアリ、而シテ見マスレバ豫算不成立ノ如何ニ拘ラズ政府ハ臨時ノ費用ハ悉ク豫備費ヲ是非トモ是ハ協賛ヲ表サナケレバナリマセヌガ、然レドモ豫備費ノ費用ニ不足ヲ感ジタキハ斯ノ如ク追加ヲ要求スルト云フコトニナツテ居リマス、日清事件若クハ朝鮮事件ニ對シテハ固ヨリ吾々ノ否ムベキコトデモナイ、是非トモ是ハ協賛ヲ表サナケレバナリマセヌガ、然レドモ豫備費ノ餘剩金ニ就キマシテハ吾々議會ト政府ト續々見解ヲ異ニシテ此タメニ續々衝突ヲ致シテ居ルノデゴザリマス、而シテ此事ヲ審査致シテ此議會ト政府トノ見解ヲ以テ争ヒマスル場合ニ於キマシテハ到底是ハ憲法上ノ問題即チ立法行政ノ衝突問題トナラナケレバナヌ、吾々ハ議會ノ權能ヲ以テ此事ヲ審査シ此事ヲ論議シ是ニ對シテ處決スル所ガナケレバナリマセヌ、併ナガラ今日ノ場合軍國多事ノ場合デゴザリマスカラ今日此事ニ就イテ争フコトハ吾々ノナスニ忍ビザルコトデゴザリマスケレドモ、何ニ致セ則チ此際ニ臨ムデ國庫豫備費ヲ朝鮮事件ト支那事件ニ對シテ要求シタ其費目ハ、横濱築港費ニ支出シタ云フコトハ事實デゴザリマスガ故ニ、此事ヲ皆サンニ一應御報告ヲ致シテ置ク、併セテ大藏省所管ニ於キマシテ悉ク原案ニ贊成シタ云フコトヲ一言述べテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 工藤行幹君  
(湯本義憲君演壇ニ登ル)

○湯本義憲君(百五十三番) 私ハ内務省所管及文部省所管ニ於キマシテ主査ノ意見ヲ申上ゲテ置キマスルノデゴザイマス、儲テ唯今委員長ヨリ御報告ノ如ク内務省及文部省ノ所管ニ於キマシテモ盡ク原案ヲ是認致シマシタコトノ事柄ニ就キマシテハ委員會ニ於キマシテモ既ニ半數僅カ一名ノ過半數ヲ以テマシテ原案ヲ可ト認メマシタノデゴザリマスガ、外ニ是ハ諸君ニ一應委員會ノ意見ヲ申上ゲテ置クノ必要ガアラウト考ヘマスカラ、是ダケヲ申上ゲマス、其他ハ御質問ニ依リマシテ時々御答ヲ致シマス様ニ致シタウゴザリマス、拔テ此横濱築港ニ於キマシテハ主査會ニ於キマシテ政府委員ニソレ質問モ致シマシテゴザリマス、第六議會ニ於キマシテハ豫算委員會ニ於テ可決ヲナシ本會ニ於テ此項ハ削除ニ相成リマシタコトデゴザリマス、ソコデ其削除ノ要點ハ横濱築港ニ於テハ責任ヲ明ニシナケレバナラヌト云フノガ要點デアリマス、故ニ先以テ此責任ノ點ニ就キマシテ段々討論ヲ致シマシタ處ガ、第一技術上ノ點、第二行政部分ト二ツニ別チマシタ、處テ技術上ノ點ニ就キマシテハ委員ヲ選ムデ種々調査ヲ爲シテ見タ處ガ、何レノ點ニ基因シタコトデゴザリマスト云フコトハ、政府委員モ責任ヲ以テ是ヲ答ヘラレマシテゴザリマス、將來ノ計畫ニ就キマシテハザルモノデアルト云フコトデゴザリマス、ソレヨリ是ヨリノ築港ニ對シマシテハ十分ニこんクリーと他種々ノ材料ニ至リマスルマデモ調査ヲナシ學理上ニ於キマシテハ十分調査ヲ遂ゲマシタコトデゴザリマスト云フコトハ、政府委員モ責任ヲ以テ是ヲ答ヘラレマシテゴザリマス、將來ノ計畫ニ就キマシテハザルモノデアルト云フコトデゴザリマス、是ヲ認シテ居ルト云ヒ、又將來ニ於テ此事ガ發見スルカハ知ラヌケレドモ、今日ノ處ニ於テ材料ノ買入レト其他ノ點ニ就イテ調査ヲ遂グモ毫モ不都合ノナイト云フコトハ今日マテノ調査ノ結果デアル、斯様ノ事柄デゴザイマス故ニ、主査會ニ於キマシテハ此工事ハ必要ナルヤ否ヤ、此點ニ就イテ討議ヲ致シマシタ所ガ固ヨリ此横濱築港ノ事柄ニ於キマシテハ事業其者ニ就イテハ必要デアル、唯今日マテト云フモノハ前ニ述ベル如クノ事柄ノタメデアツタガ、今日其事明ナル以上ハ此事柄ハ必要ナリト認ムル、然ラバ本案ヲ是認致スト云フコトニ可決ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、此段ヲ申上ゲ置キマス○末廣重恭君(百七十二番) ちよつと質問致シマス、唯今ノ御説明ハさつぱり分リマセナヌダ、斯ウ云フ御辯明ダツタヤウデス、龜裂ノ原因ハ分ラヌ、學理上デ取調ベラレタガ今マデノ失策ノ原因ガ分ラヌ、併ナガラ是カラ先キノコトハ保證スルト云フ政府委員ノ御答デアツタヤウデアル、果シテ左様デアリマスルカ、私ハ是ハマア不思議ナコトデアルト考ヘル、ソレカラ尙ホ序ニ御尋申シマスルガ定テ政府委員ニモ實際ニ於テ御取調ニナツタト考ヘマスル

カラ御聞キ申シマス、果シテ築港工事ノ時分ニ其局ニ當ッタ者ハ誰トデア  
ル、其中ニハ死ンダ者モアルガ、後トニ残ッタ者ニハ一人モ責任ヲ引受ケベ  
キ者ハナイカ、此二箇條ヲドウゾ明白ニ願ヒマス

○湯本義憲君(百五十三番) 百七十三番ニ御答ヲ致シマス、第一ノ點ガ龜裂  
ノ原因、此責任者ハ將來ニ於テハ政府ハ保證スルカ、其以前ノ事柄ト云フノ  
ガ一ツ、第二ニハ其責任者ノ中死亡者モアリ、又現存シテ居ル者ガ其點ニ就  
イテハ如何ナルコトデアルト云フ此二點ト考ヘマス、是ニ就キマシテ御答ヲ  
致シマスルガ掲テ此龜裂ノ原因ニ就キマシテ主査會ニ於テ質問ヲ致シマシタ  
所ガ、成程現ニ龜裂ヲシテ居ルト云フコトニ就イテハ監督ノ不行届デアツタ  
トカ云フコトニ就イテハ是ハモウ事實不都合デアルト云フコトハ明デアル、  
併ナガラソレハ理事長其監督ソレ自身ガ惡イデアツタト思フ、併ナガラ其理  
事長タル者、既ニ西洋人歿シテ仕舞フテアル問フベキ處ガナイ、是ガマア政  
府ノ答デゴザイマス、其他現存ヲシテ居ルヤ否ヤト云フ事柄ニ就キマシテ  
ハ、其他ノ所ハ現存ヲシテ居ルト云フコトデゴザイマス、併ナガラ第一ノ理  
事長タル處ノ責任者ガ死亡致シマシタ故ニ、其他ノコトハ主査會ニ於キマシ  
テハ問ヒマセヌデアリマシタ、此段御答ヲ致シマス

○末廣重恭君(百七十二番) 今一應質問ヲ致シマス、尙ホ分ラヌヤウニナリ  
マシタ、前ニ仰シャルニハ原因ガ分ラヌト云フ、原因ガ分ラヌガ不都合ハ明  
デアル、サウスルト惡イコトハ惡イガ原因ガ分ラヌ、處ガ責任者ハ死ンデ仕  
舞ツタ就イテハ誰モ責任ヲ引受ケル者ハナイ、斯ウ云フマア簡単ナル御話ノ  
ヤウデアル、然ルニ死ンデ仕舞ヒマシタ人ハドレダケノ大責任ヲ引受ケル、  
善イコトモ惡イコトモ必ズ一人デ引受ケナケレバナラヌ人デアツテ、後トニ  
是ニ關係シタ人ハモウ少シモ是ニ連帶スル責任ノナイト云フコトヲ御保證ナ  
サル御考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○湯本義憲君(百五十三番) 先づ豫算委員會ニ於テ質問致シマシタダケヲ御  
答致シマス、其點ニ就キマシテハ龜裂ノ原因ニ就イテハ前回ニ私が述ベマシ  
タ如ク學理上何レノ點デアルカ、或ハあんくりーとノ上ニ於テ調合ノ仕方ノ  
悪イデアツタカ何カト云フコトハ、現ニ其内全部龜裂ヲセヌデ其一部分ガ龜  
裂シタ以上ニハ或ハ何レノ點ニ原因シテ居ルカ發見スルコトガ出來ナイ、斯  
様ノ政府委員ノ答デゴザイマシタ、ソレ故ニ成程切レタト云フコトニ就イテ  
ハ、是ハドウモ監督ガ不行届デアツタカ或ハ何デアツタコトハアツ  
タカモ知レヌデアルダラウ、併ナガラ此原因ト云フモノニ就イテハ或ハ乙  
んくりーとノ調合ノ仕方デアル、或ハドウ云フ割合デアル、何デアルト云フ  
コトハ其一部ガ龜裂ヲシテ以上全部龜裂セヌカラ何分其所が發見スルコトガ  
出來ナイ、斯様デアル、ソコデ政府ハ委員ヲ選ムデ種々其調査ヲ爲シテ見タ  
ケレドモ將來ノコトニ就イテハ唯先刻申シマスル通ノ次第ゴザイマス、是  
デ御分リデゴザイマセウ

○末廣重恭君(百七十二番) マダ盡キマセヌ、死ンダ者バカリガ責任ヲ帶ビ  
テ後トニ連帶責任ヲ引受ケル處ノ者ハナイト御確メゴザイマスルカ

○湯本義憲君(百五十二番) ソレハ豫算委員會ニ於キマシテハ第一ノ責任者  
ヲシテハ事業ノ必要ト云フ方ニ論及致シマス、其事ニ就キ  
シタガタメニ連帶責任ノコトニ就キマシテハ質問ヲ致シマセヌ、其事ニ就キ  
マシテハ政府委員ニ御問ヒ下サルコトヲ望ミマス

○中村克昌君(百四十一番) 私ハ政府委員ニ質問シタイト思セマス、此場合  
ニ質問致シテ宜シウゴザイマスカ

○德増源太郎君(二百八番) 議長……

○議長(楠本正隆君) 然ラバ政府委員ノ質問ハ後トニ願ヒマス  
ニ就イテ則チ失態ヲ來シマシタメニ工事ノ滞滯ヲ來シ、世人ハアノ工事ニ  
濱築港ノコトデゴザイマス、豫テ横濱築港ノコトハあんくりーと龜裂ノコト  
ニ就イテ、斯ノ如キ失態ヲ來シマシタメニ工事ノ滞滯ヲ來シ、世人ハアノ工事ニ  
疑フ今尙ホ存ジテ居ル、第六議會ニモ此築港ノ議案が出マシテゴザイマスル  
ケレドモ、其當時此龜裂ノ原因及將來ノ見込ヲ政府委員ニ御問ヲ致シマシタ  
處ガ、其當時ノ答辯が何分明デナイ、吾ニ議員ガ安心ヲ致ス程ノ答辯ガナイノ  
デゴザイマス、第六議會ニハ遂ニ否決ヲ致シマシタト存ジマスルガ、尙ホ政  
府ハ繼續費トシテ此議案ヲ提出致シマシタコトニ就キマシテハ定テ確タル御  
調ノ附キマシタコトニ存シマス、此工事ハ到底中止シテ其儘置クコトハ出來  
ナイト云フコトハ吾ニモ信ジテ居ル、必ズ何レノ點カ早晚竣工シナケレバナ  
ラスト云フコトハ吾ニモ信ジテ居リマスルケレドモ、斯ノ如キ失態ヲ又重ネ  
テ斯ノ如キ不始末ヲ二ノ舞ヲ致スコトヲ吾ニハ實ニ恐ル、ノデアル、ソレ故  
ニ彼ノこんくりーと龜裂ノ原因ヲ御調ニナリマシタコトヲ一通り御説明ヲ願  
ヒ、併セテ將來ノ御見込ノ尙ホ斯ノ如キコトノナイト云フヤウナル、吾ニガ  
安心スベキヤウナル御説明ヲ——登壇ニナツテ一ト通り御説明ヲ願ロダイト  
考ヘル

○工藤行幹君(二番) 少數者ノ意見ヲ云フテカラ質問スルノガ順序ト思ヒマ  
スカラ、先づ以テ少數者ノ意見ヲ御聽取りニナリ、然ル後御質問ニナツテ宜カ  
スルガ、此事ニ就キマシテハ豫算委員會デ吾ニハ是ヲ否決スルト云フ動議ヲ  
提出致シマシタガ不幸ニシテ少數ニナリマシタ、併シ是ハ十六人則チ三分ノ  
一以上ノ賛成ガアリマスカラ此少數者ノ意見トシテ是ヲ否決スルト云フ所以  
ヲ一應諸君等ニ御話致シマスル、抑此横濱築港ト云フモノハ誠ニ重大ナコト  
デゴザイマシテ、諸君モ御存ジ通リ此費用ト云フモノハ元亞米利加合衆國カ  
ラ恩惠的ニ受ケタ金ヲ本トシタコトデゴザイマス、ソレヲ以テ吾國ノ外國ニ  
對スル關門トモ云フベキ横濱ニ大ナル築港ヲシテ、吾國ノ福利ヲ增進シ又一  
般世界ノ商法家ノ便利ヲ計ラウトシテ掛ツタモノデゴザイマスカラ實ニ容易  
ナラヌモノデゴザイマス、又其金ノ如キモ既二百萬圓餘ノ金ヲ支出シテアリ  
マスル今日デアリマスカラ、是ヲ否決スルノハ決シテ此事ヲ惡ルイト云フテ  
否決スルノデハゴザイマセヌ、其事業ハ吾ニハドウカ是ヲヤリタイコトハ萬

萬ナノデゴザイマス、現ニ此項ニ至リマシテ横濱ノ市會ノ有志者ニ於キマシテモ此事ニ就イテ深ク憂ヘ、今ヤ此百万圓以上ノ金ヲ費シタモノハ殆ド人ノ手ヲ以テ暗礁ヲ掠ヘタ如ク益ヲナサザルノミナラズ、却テ害ヲ爲シテ居ルカラ此事ヲヤリタイト云フコトハ熱心ニ運動シテ居ルト云フコトデゴザイマスルガ、實ニ御尤ナコトデゴザイマスル、又其當時ニ於キマシテ或ル一方ノ新聞ニハ其當時ノ神奈川縣ノ書記官ノ某ナル者ガ非職ニナツタノハ則チ此横濱築港ノ責任ヲ帶ビタモノデアルト云フコトヲ新聞ニ出シマシタコトガゴザイマスル、故ニ吾々ハ其當時ニ至リマシテハ是ハ誠ニ宜イコトデアル、政府モ一方ニハ責任ヲ明ニシテ居ルコトデアル以上ハ、早ク此二十八年度ニ於テ此事業ニ著手シテドウカ完全ナルコトヲシタイト云フテ吾々ノ政友ナル革新黨員ハ其當時既ニ相談マデシテ、誰モ異存ガナイト云フ位ニナツタノデアリマス然レドモ茲ニ至ッテ已ムヲ得ズ是ヲ否決スルト云フモノハ二箇ノ理由ガアルノデゴザイマス、其二ノ理由ト云フモノハ則チ政府カラ是ヲ提出スルノ時機ノ惡ルイト云フコトガ一ツ、政府ハ此責任ヲ明ニセヌト云フコトガ一ツ、此二ツノ理由ニ依ラテ已ムヲ得ズ此追加豫算ニ於キマシテハ是ヲ否決セザルヲ得ナイト云フコトニ遭遇シタノデゴザイマス、ソコデ此政府ハ是ヲ提出シタ所ノ時機ノ惡ルイト云フコトヲ辯明致シマスルニ就イテハ、少シク冗長ニ涉リマスレドモ此追加豫算ノ全體ニモ論ガ及バナクチャナラヌノデゴザイマス、ト云フモノハ元來國家ノ歲出入ト云フモノハ既ニ憲法ニモ掲ゲ又會計法ニモ掲ゲテアル通り、此前年度ノ初メニ於テ一箇年ノ歲入歲出ノ豫算ヲ取調ベテ政府ハ之ヲ提出シ、而シテ此兩院ノ通過ヲ得テ賛成ヲ得テ則チ是ガ成立シテ其年度内ニ總テノ歲出入ノコトヲ取計ラウト云フコトハ諸君ノ既ニ御承知ニナツテ居ルコトデ、則チ會計法第五條ニ歲入歲出ハ前年度ノ帝國議會ニ於テ之ヲ諮詢ルト云フコトニナツテ居ル、而シテ若シ其當時ニ於テ豫期セラレナイモノガアツタナラバ是ヲドウスルカト云ヘバ、則チ又會計法ニモアリ憲法ニモアル通り第一第二ノ豫備費ト云フモノヲ置イテ、第一ノ豫備費ナルモノハ豫算ノ不足ヲ補フモノデアル、第二ノ豫備費ハ豫算ノ項目ニナイモノヲ則チ是デ補シテ往カナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、然ラバ追加豫算ト云フモノハ何ニ依ラテ出テ來ルカト云フコトハ甚ダ惑ヲ生ズルコトデアル、サリナガラ此追加豫算ト云フモノハ既ニ今始テノコトデナイ、國家ノ必要ニ應ジテ已ムヲ得ズ是マデ法律ニ明文モナシ何ニモナイケレドモ、則チ慣例ノ如キモノニナツテ段々追加豫算ト云フモノガ出テアルノデゴザイマス、然ラバ追加豫算不成立ニナツテアル年柄デゴザイマス、豫算ガ不成立ニナレバ憲法ノ明記スル所ニ從シテ政府ハ兎角前年度ノ豫算ニ等閑ヲシタモノデアルカ何ダカドー、是カラ追加豫算ヲ出スト云フコトハ、誠ニ不穏當ノコトダト吾々ハ信シテ居ルノデゴザイマス、併シ是モ已ムヲ得ナイヤウナ茲ニ惡弊ガ生ジテ來タノデアル、殊ニ當年ノ如キハ則チ豫算不成立、政府ハ議會ヲ解散シタダメニ豫算不成立ニナツテアル年柄デゴザイマス、豫算ニ據シテ見タナラバ既ニ其年度ガ此第一議會以來往々追加豫算ノ經過スルニ從シテ政府ハ兎角前年度ノ豫算ニ等閑ヲシタモノデアルカ何ダカドー、是カラ追加豫算ヲ出スト云フコトハ、誠ニ不穏當ノコトダト吾々ハ信シテ居ルノデゴザイマス、併シ是モ已ムヲ得ナイヤウナ茲ニ惡弊ガ生ジテ來タノデアル、殊ニ當年ノ如キハ則チ豫算不成立、政府ハ議會ヲ解散シタダメニ豫算不成立ニナツテアル年柄デゴザイマス、豫算ニ據シテ見タナラバ不十分ナルコトガアリマセウ、時勢ガ違シテ居ルデゴザ

イマスルカラ既ニ足掛ケ三年ニモナツテ居ルカラ、不自由ナコトガアルダラウ、縱令不自由ナコトガアツテモ是ハ已ムヲ得ナイ、何故ナレバ則チ此豫算ノ不成立ト云フモノハ實ニ國家ノ不幸デアル、故ニ議會ノ解散ト云フモノハ容易ニスペキモノデナイ、又豫算ノ不成立ト云フモノモ容易ニスペカラザルト云フコトガ勿論デゴザイマス、既ニ已ムヲ得ナイデ議會ノ解散或ハ其他ノ事故ニ依ラテ豫算不成立トナツタトキニハ、成ルタケ勘辨シテ二十六年度ノ此歲出豫算ニ基カナケレバナラヌコトハ吾々ノ喋々ヲ俟タナイコトデアリマセウ、然ルニ當年ノ此追加豫算ト云フモノハドレダケデアルト云フタナラバ甲乙ノ二ツニ別レテ、即チ一方ハ二十九万八千圓餘、一方ハ二百八万六千圓餘、併セテ二百三十八万圓程ノ金ヲ此豫算不成立デアル年度ニモ拘ラズ、斯ノ如キ大金ヲ追加豫算トシテ出スト云フコトハ誠ニ不穩當ナコトデアル、而シテ此內譯ヲ見ルト云フト大抵是ハ皆豫備費カラ出スベキモノデアル、第壹ノ豫備或ハ第二ノ豫備カラ出ベキ性質ノモノデアルノデ茲ニ疊シニ此追加豫算トシテ出シタノデゴザイマス、故ニ先刻モ申ス通り嚴重ニ言フタナラバ或ハ此總體ヲ否決シナクテハナラヌカモ知レヌケレドモ、先例モアルコトデゴザイマスルシ、又當今ノ時勢デモゴザイマスルカラ已ムヲ得ヌモノハ仕方ガナイ——仕方がナイケレドモ此横濱築港ノ如キハドウデゴザイマスル、是ハ即チ繼續事業ニナルベキモノデゴザイマスル、此繼續事業ニナルベキモノハ、既ニ憲法ニモ掲ゲテアル通り特別ノ性質ヲ有シテ一年デヤリキルコトノ出來ナイ大事業ヲ是ヲ年期ヲ定メラヤルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、斯ノ如キ大事ナモノハ是ハ通常ノ年度ニ於テ始テヤルベキモノデアツテ、決シテ此追加豫算ナドト云フモノデヤルベキ性質ノモノデナイト云フコトハ吾々ハ固ク信シテ疑ハナイノデゴザイマス、論者或ハ言フカモ知レマセヌ、今此二十八年度カラヤルト云フナラバ今カラ直グニヤルノト違シテ年月ガ延ルニ就イテワレガタメニ幾ラカ事業ガ捲取ラナイ、或ハ事業ニ損害ヲ來スト云フコトヲ言フ、或ハワレガタメニ國家ノ不幸ニナルト云フコトヲ言フケレドモ是等ハ私ガ論ズルニ足ラナイコトデアルト思フノデゴザイマス、今ヤ將ニ二十八年度ノ歲計豫算ヲ議サムトスルノデゴザイマシテ則チ此四月一日カラハ二十八年度ノコトヲ行フ場合デゴザイマスカラ、僅ニ一箇月カ二箇月ノコトヲ言フ、或ハワレガタメニ國家ノ必要ト云フ程ノコトハドウ見テモ見出スコトガ出來ナイ、又左程ニ是迄此事業ト云フモノデゴザイマス、其後又帝國議會ニ出シテヤツタケレドモ此中ニ惡イコトガアツテ、遂ニ議會ガ是ヲ否決シタモノデゴザイマス、然ラバ今僅ニ二箇月ノ所ヲ以テ是迄斯ノ如キ經歷ノアルニモ拘ラズニ二箇月待タレヌトシテ、不規則ナル此追加豫算トシテ是ヲヤラナケレバナラヌト云フ必要ハ何處ニモナイ、モノデゴザイマス、其後又帝國議會ニ出シテヤツタケレドモ此中ニ惡イコトガアツテ、遂ニ議會ガ是ヲ否決シタモノデゴザイマス、然ラバ今僅ニ二箇月ノ所ヲ以テ是迄斯ノ如キ經歷ノアルニモ拘ラズニ二箇月待タレヌトシテ、不規則ナル此追加豫算トシテ是ヲヤラナケレバナラヌト云フ必要ハ何處ニモナイ、モノデゴザイマス、其後又帝國議會ニ出シテヤツタケレドモ此中ニ惡イコトガアツテ、遂ニ議會ガ是ヲ否決シタモノデゴザイマス、其第二ノコトニナリマスルト則チ此龜裂事件ト云フモノハ昨年第第六議會ニ於テトニナリマスルト則チ此龜裂事件ト云フモノハ昨年第第六議會ニ於テ此議場ニ於テ滔々是ヲ論シタ人デアリマスル、則チ齋藤君ヤラ論シタ者ガア

ル、而シテ其事ハ甚ダ理ガアル、ドウモ此龜裂事件ト云フモノハ前申シタ通り容易ナラヌコトノ工事ニ於テ數多ノ石ガ悉ク割レテ仕舞ヲテ、是ヲ以テ根底トシテ居ルモノガ最早用ニ立タムト云フコトノ結果ニナツタモノハ何レニカ政府ノ不注意、或ハ學術上デアルカ或ハ實業上デアルカ冤ニモ角ニモ惡ルイコトヲシタニ相違ナイ、然ルニ政府ハ其後是ヲ調査シテ多クノ委員ヲ定メテ是ヲ調査シタガ、昨年ノ會議ノ時ニ當ツテハマダ其調査ノ結果ハ茲ニ明言スルコトハ出來ナイト云フコトデゴザイマシタ、其他ニ或ハ船ノ買入或ハせめんとノ買入ナドノコトニ就イテ段々不行届不都合ナコトガアルト云フコトハ其當時此議場デ論ジマシテ、其末遂ニ是ガ否決ニナツタモノデゴザイマス、然ラバ政府ハ斯ノ如キ大事ナル工事ニ對シテ議場ハ頻ニ此政府ノ不都合ヲ責メテ、其責任ノアル所ヲ明ニシナケレバナラヌト云フコトヲ希望シテ是ヲ否決シタニモ拘ラズ其後何トモナイ、而シテ前申シタ通り吾ハ先達テノ新聞デ或ハ政府ハ其責ヲ負フテ此工事者ニ對シテソレダケノ責ヲ歸シタクト思フテ安心シテ見タ所ガ、今度ノ會議ニ望ムデ段々質問シテ見マスルト云フト決シテサウジヤナイ、此言葉ノ概略ニ曰ク此石ノ——製造ノ石ノコトハ割レタガ惡イニ相違ナイケレドモ、何ノタメニ是ガ割レタモノデアルカ、或ハ混ゼ物ノ惡ルカタノデアルカ、突固メヤウノ惡ルイノデアルカ、ドウシテモ分ラヌト云フ、分ラヌケレドモ其責任ト云フモノハ何レニアルカ知レナイト斯ウ云フ、而シテ又内務次官ノ説明ニ依レバドウシテ是ガ割レタモノデアルカ、ソレハ學理上ナドニナツテハ分ラヌケレドモ、既ニ割レタ以上ハ冤ニ角ニ此工事者ノ或ハ不熟練トカ或ハ不親切トカハアツカモ知レナイケレドモ、其人が既ニ外國人デ是ガ死シテ仕舞ツタ以上ハ今更仕方ガナイトスウ云フ、而シテ是ヲ管理シテ居ル横濱ノ書記官ハドウデアルカ、既ニ昨年ノ會議ニ於テハ（横濱ノ書記官ト云フ者ハナイ）ト呼フ者アリ）神奈川縣ノ書記官デゴザイマス——會議ニ於テハ此せめんと買入レ方或ハ船等ノコトニ就イテ、大變不都合ノアッタト云フコトヲ其當時此議場デ論ジタコトデアツカガ、其事ハ如何シタト云フコトヲ問フテ見マスルト云フト政府ハ其事ニ就イテモ非常ニ心配シテ其後能ク調査シタケレドモ、一向サウ云フ惡ルイ物ヲ買ツタコトノ證跡ガナイ、又船ヲ買損ナツタト云フヤウナ如キモ何ニモソレハ議場デ言フタコトヲ取調べテ見レバサウ云フコトハナイ、決シテ神奈川縣ノ書記官ノ非職ニナツタノハソレガタメニ責任ヲ歸シタモノデハナノモ是ヲ非職ニシタケレドモ此横濱築港ノコトニ就イテハ更ニ其罪ヲ帶ビタコトデハナイト云フコトハ内務次官ノ明言デゴザイマス、茲ニ於テ吾ミハ大變是ヲ疑フノデゴザリマス、何故ナレバ既ニ此石ガ割レテ仕舞ツタニ相違ナイ、他ノコトハ姑ク措イテ、割レテ仕舞ツタノハ割レタ物ガ惡ルイニ相違ナイ、後トカラ捨ヘタ物ハ今度ハみんなガ注意シテ掛ツタナラ、ドウシテモ割レナイ、今迄三百幾ツト云フ物ヲ捨ヘテ是迄海中ニ入レテ色ニ試験シテ見テモ割レナイ、シテ見ルトドウシテモ前ニ捨ヘタ物ハ何處カニ惡ルイ所ガアルニ相違ナイコトデアル、然ルヲ此工事長タル唯一ノ外國人ニ其責ヲ歸シテ、此外不熟練ナル不親切ナル外國人ヲ雇フ其者モ、幾ラカ私ハ責ガアルダラウト思ヒマス、殊ニ築港ノ事ト云フモノハ獨リ此外國人バカリガヤツタモノデ

ハアリマスマイ、私ガ其ハラ知リマセメケレドモ今年ノ豫算ニ依ツテ見テモ技師長ト云フ者ガ千五百圓ノ年俸ヲ取ツテ居ル者ガアル、其次ニ技師ト云フ者ガ平均千二百圓ヲ取ツテ居ル技師ノ三人セアルノデゴザイマス、然ラバ是ヲ獨リ其死ンダ外國人ニ責ヲ歸シテ其當時ヤツテ居ツタ技師ト云フ者ハ何ヲシテ居ルカ、若シ此技師杯ト云フ者ガ工事長ニ任セテ何モシナイ差圖通ニヤルモノト致シタナラバ焉ゾ殊更ニ一箇年千二百圓モ取ル技師ヲ三人モ雇ツテ置ク必要ガアリマセウ、決シテ工學士トカ何トカ云フ是ダケノ名ヲ附ケテ居ル者ハ矢張其事ニ關係シテ居ルニ相違ナイ、況ヤ私ガ能ク知リマセヌガ、想像的カラ言ツテ見タナラバ此石ヲ捨ヘル皆突固メル迄モ工事長ガ皆悉ク立會ツテヤルコトモアルマイ、必ズヤ技師ノ擔當ト云フモノモアルダラウト思ヒマスル、然ルニ是等ノ事ガ一向政府ニ於テ取調べヌテ、唯外國人ガ死ンダカラ今更ニ止ムヲ得ヌト言ツテ、此事ヲ何レニモ責ノ歸スル所ハナクシテ再ビ此事ヲヤルト云フコトハ甚ダ政府ハ此處置ガ私ガ宜シクナカト思フノデゴザイマス、諸君能ク是ヲ熟慮シテ御覽ナサレマセ、今ヤ我國ト云フモノハ段々工事が進ムデ是カラハ河ノ工事ト云ヒ築港ト云ヒ鐵道ト云ヒ此技術上ニ就イテ追々進歩シテ來マシタモノデゴザリマスルカラ、是ト共ニ國家ノ事業ハ多ク必要ナル事業フヤリマンテ大ナルコトヲシナクチャナラヌ、然ルニソリニ關係スル工事者其技師ナル者ガ斯ノ如クヤリ損ツテモ一向罪ヲ引カナイ、責トハ技師其人ヲ信ジテ必ズ是ディケルト云フカラ、其言ヲ信ジテ大枚百万圓ヲ引カナイデ是ガ何ノ譯デアツカ分ラヌト言ツテヤルヤウナコトデゴザリマシタナラバ、吾々人民ノ膏血ヲ絞ツテドウシテ思切ツテ斯ウ云フ事業ニ掛ラレマセウ、甚ダ不安心極マルコトデゴザイマス、私ドモハ則チ學術上ノコトハ技師其人ヲ信ジテ必ズ是ディケルト云フカラ、其言ヲ信ジテ大枚百万圓ヤ二百万圓ノ金デモ出シテヤルノデゴザリマス、然ルニ其事ガ破レテ石ガ破レテ仕舞ツテモ是ガ誰ガヤツタカ分ラヌト云ツテ往クコトデアルナラバ、逆モ此後大ナル工事ヲ起シテヤルコトニ大變妨害ヲ來スデゴザリマセウ、又吾吾モ安心シテヤルコトが出來ナイト思フ、サリナガラ政府委員ノ此度ニ三百幾箇ヲ捨ヘテドウシテモ破レヌト云フ以上ハ吾ミハ是ヲ信ジナイシヤナイ、今度ハ政府ガ注意ニ注意ヲ加ヘテヤルカラ宜カラウトハ思ヒマスルガ、是迄ノコトヲ明ニシナケレバ私ハナラヌト思ヒマス、若シ斯ノ如キ事ヲ其儘ニシテ一向分ラヌト政府委員ガ云フタメニぞしヽ斯ウ云フコトヲヤツテ仕舞ツタナラバ後來云フベカラザル惡弊ガ起ルダラウト私ガ思ヒマス、故ニ政府ニ於テ此事ヲ能クモ調査シテ議會ノ趣意ヲ重ンジテ見タナラバ、必ズヤ何レニカ此責ヲ歸スル所ガアルダラウト私ガ信ズル所デゴザリマス、故ニ政府委員モ則チ政府委員ジャナニ、政府總體ニ於テ斯ノ如キコトハ極ク慎ンデ十分ニ嚴重ニ是ヲ取調べテ其責任者ヲ明ニシ、而シテ後此通常會ニ提出シタナラバ何人モ是ヲ否ト云フ者ハナイ、必ズ其效ヲ奏スルデゴザリマセウ、斯ウ云フコトヲ若シ時日ガ之ヲ許サヌ、此事業ガ宜シイ、此築港ノ事が宜シト云ツテ、出シタ期節ノ如何モ顧ミズ未ダ其責任ノ在ル所ノ如何ヲ顧ミズシテ、府ノ責任ト云フモノハ一向明ニシナイ場合ニ於テ是ヲ可決スルト云フコト唯一日後レ、バ一日損ラスルト云フヤウナ姑息ノ考ヘ上ヨリ斯ノ如キコトヲ一旦否決シタモノヲ其同年期間ニ於テ追加豫算ヲ以テ是ヲ經過シ未ダ況ヤ政

事ヲ免ニモ角ニモ追加豫算ニ於キマシテハ一度否決シテ、政府ニ深ク之ヲ煩ハス積デゴザイマス、決シテ絶對的ニ此業ヲ止メルノデハゴザイマセヌガ、止ムヲ得ズ是ヲ此案ヨリハ否決スルト云フ意見デゴザリマス、幸ニ諸君等御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○草刈親明君(二百一十九番) 工藤君ノ第二ノ御説ニ於キマシテハ政府が其責ヲ歸スル相當ノ處置ヲ致シマセヌガ故ニ、此案ヲ否決スルト云フ御意見デゴザリマスガ、政府ガ何年過去シテモ其責ヲ引カナイ其處置ヲ致シマセヌデゴザイマシタナラバ、二十年過ギマシテモ三十年過ギマシテモ此事業ニ著手セヌト云フ意見デゴザリマスカ

○工藤行幹君(二番) 私共ハ實ニ此憲法政治トナツテハ立法部ト行政者トノ能ク區別ヲ明ニ致シタイト思ヒマス、能ク政府ガ無責任デ事ヲヤラレル時ニハ立憲政體ノ基礎ガ立チマセヌ、若シ政府ハ斯ノ如ク議會ト議決シテモ飽迄強情ニモ失脚ニモヤラスト云フトキハドウシテ國家ハ長クサウシテ置カレマセヌカラ、更ニ一段ノ手段ヲ以テ責任ヲ明ニスルヤウナコトヲシナイシヤナルマイト思ヒマス、ドウモサウ我儘デいつ迄モ處置シナイデ、ヤレヽト脅迫染ミタコトヲスルナラバ私共尙ホヤリマス

○草刈親明君(二百一十六番) 尚ホ問ヒマス

(「無用々々」ノ聲起ル)

○草刈親明君(二百一十九番) 無用シヤナイ、工藤君ノ仰セハ御尤デゴザリマス、所ガ今ノ政府ハいつ迄モ無責任ノ政府デアル、いつ議會ノ決議ニ從テ責任ヲ明ニシタコトガアリマスカ、是迄議會ノ決議ニ從テ責任ヲ明ニセヌ政府ニ、今日ニ至リマシテカラ責任ヲ明ニスルデアルト立法部ト行政部トハドウデアルトカスウデアルトカ云フヤウナコトハ到底言フベクシテ行フベキコトデハゴザリマセヌ、然レドモ工藤君ハ今般ハ軟派ニナラレマシテ政府ハ必ズヤ吾ミト同一ノ運動ヲスルト御考デゴザリマセウカ

(「無用々々答辯スルニ及バズ」ト呼フ者アリ)

○工藤行幹君(二番) 御答致シマス、軟派カ硬派カ知リマセヌケレドモ、私

ガ誠ニ正直ナヤツデゴザリマシテ斯ノ如キ道理アル事ハ政府ハ從フダラウト思ヒマス、從ハヌ時ハ從ハヌ時ニ非常ナ手段ヲ取ラナケレバナリマスマイ

○議長(楠本正隆君) 都筑君

(政府委員内務省土木局長都筑馨八君演壇ニ登ル)  
○政府委員(都筑馨八君) 最前御質問モアリマシタシ、又是カラ御質問モ隨分出マセウト思ヒマス(「分りマセヌ大聲デ」ト呼フ者アリ)旁々此豫算案ヲ今回ノ議會ニ提出シマシタ所ノ理由ノ大體ニ涉シテ「ツ前以テ説明ヲ致シテ置キマシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、少シ長クナルカモ知レマセヌ、元來此築港ノ問題ハ既ニ隨分やかましい議論ヲ此前ニモ惹起シタ問題デゴザイマシテ、今回ノ如キハ遂ニ憲法ノ問題マテヲモ惹起シタヤウニ唯今承リマスルシ、先づ憲法ノ問題カラ申シマスレバ政府ノ見ル所ニ依レバ憲法ハ豫算ノ不成立ノ場合ニ於テハ他ニ政府ノ據ルベキ標準ガナイカラ、前年度ノ豫算ヲ標準トスルコトヲ許シタダケナル、故ニ其後起々タ必要ノタメニ議會ニ協賛ヲ求メ他ニ據ルベキ標準ヲ求メルト云コトハ却テ憲法ノ精神ニ適合スルモノト認メテ居ル、併ナガラ斯ノ如キ法律論ハ姑ク措イテ既往ニ遡リテ昨年五月此帝國議會衆議院ニ於テ此費目ノ否決サレタ理由ハ何レノ點ニアリシカト云フコトヲ見レバ、

第一ニ混凝土塊ノ龜裂ノ原因ハ判然シナ、第二ニハ此龜裂ノ外ニ種々行政上會計上不都合ノ點ガ横濱築港ニハ澤山アル、第三ニハ右ノ如キ始末デアルゴザリマスガ、政府ガ何年過去シテモ其責ヲ引カナイ其處置ヲ致シマセヌデゴザイマシタナラバ、二十年過ギマシテモ三十過ギマシテモ此事業ニ著手セヌト云フ意見デゴザリマスカ

原因及其責任ノ歸スル所ヲ明ニスル迄ハ此費用ニ對シテハ協賛ヲ與ヘナイト云フ議決デアシタノデス、然ルニ政府ニ於テモ此混凝土塊ノ龜裂ト云フモノハ無論憂フベキモノデアル、其當時ニ於テモ憂ヘテ居タルコトデアリマスカラ、ニ至ルノ眞ガナイトハ言ハレナ、故ニ政府ニ於テ此混凝土塊ノ龜裂ノ原因ヲ明ニシ、サウシテ行政上及會計上等ノ不都合ガアルカナイカ、若シアレバ其原因ニシテ調査委員ト云フ者ヲ設ケテ龜裂ノ原因ハ何レニアルカト云フコトヲ調査セシメタ、第一ニ御断申シテ置カナケレバナラヌノハ總テノ混凝土塊ガ龜裂シタカノ如キ御話モアリマシタガ是ハ決シテサウデハナ、僅ニ二割以上三割内外ノ處ノ龜裂デアルノデ、決シテ總テ海中ニ入レテアル所ノ混凝土塊ガ龜裂シテ仕舞タト云フ譯デハナ、然シテ調查委員ノ方デモ十分ニ調査ヲ遂ゲテ調査ノ結果ドウデアルカト云フト、隨分立派ノ技師ガ集シテ調べテ見タガ或ハ材料ノ不十分ナル所ノ點ニ其原因ガアルカ、或ハ材料ノ混ぜ方ニアルカ、或ハ混凝土塊ノ突固メ方ニアルカ、或ハ乾シ方ニアルカ、或ハ乾シテノ後ノ運搬方ニアルカ、何レニアルカ分ラナイカラ、或ハ其中ノ數種ニアルカ、或ハ其總ニアルカ、或ハ其中ノニ基因スルカ、何レニ龜裂ガ基因スルカト云フコトハ學理上突留メルコトガ出來ナイ、サリナガラ其何レノ中ニカアタラウト云フコトハ是ノ點ニ――今數ヘタ點ニ注意ヲシテ更ニ造ツタ所ノ混凝土塊ト云フモノハ、既ニ水ニ入レテカラ一年ノ餘モ經ソノデアルガ未ダ龜裂ヲ生ジナ、今數ヘ舉ゲタ數點ニ就イテ注意シタ混凝土塊ハ龜裂ヲ生ジナイデ、前ノ混凝土塊ガ龜裂ヲ生ジタト云ヘバ學理上ニ於テ其何レニ基因スルカ、ソレハ判然セズト雖モ行政上ノ點ニ於テハデス、此五ツカ六ツノ中ニ必ズアルデアラウト云フコトハ明デアル、然シテ其何レニアルカ分ラヌニシタ所ガ忍ニ角ニ是等數點ノ中ニアルトスレバ是ガ責任ヲ持ッテ居ツタ所ノ技師長ガ責任ガアル、是モ明デアル、行政上ノ原因モ分リ、行政上ノ責任ノ歸スル所モぞつきり分ツタノデス、然ラバ其技師長ノ外ニ一人モ責任ノアル者ガナインデアルカト云フコトハ明デアル、然シテ其何レニアルカ分ラヌニシタ所ガ忍ニ角ニ是等數點ノ中ニアルトスレバ是ガ責任ヲ持ッテ居ツタ所ノ技師長ガ責任ガアル、是モ明デアル、行

イマシクガ、又千二百圓モ取ツテ居ル技師ヲ二人モ三人モ使ツテ居ルノニ是ハドウシタト云フ御話ニアツタガ、此御疑ニ對シテハ第一ニ此一般ニ工場ヲ預ケテ居ツタ其工場ヲ指揮スル――指揮監督ノ責任ヲ持ツテ居ル技師長ガ主トシテ責任ヲ持ツテ是ハ通常ノ場合モ責任ガ無ケレバナラスト云フコトハ明カデアル、ソレカラ其他ノ技師ト云フモノハ今申上ゲル通ノ次第デ其技師長ガ主トシテ責任ガナケレバナラヌノミナラズ、其他ノ技師ト云フ者ハ重ニ製造ノ方ニハ使ツテナカタシテス、製造スル方ニハ使ハズシテ使用スル方ニ重ニ使ツテ居ツタノデ、ソレカラ又政府ハドウダト云フ御質問モ出ルカモ知レナ、政府ハ其技師ヲ使ツタコトニハ責任ガアル、其當時内外共ニ此人ハ出來ル人ト認メテ居ツタノデ、且ツ混凝土塊ガ水中ニ龜裂ヲ生ジタト云フヤウナコトハ築港問題ノ起ツタ後ニ出タ新シイ問題デアルノデ、明治二十三年頃ニ西洋デ始テ委員ヲ置イテ調査シタ問題デアルカラ、其當時ノ内務大臣ナリ政府ナリガ彼ノ今故人トナツテ居ル所ノ技師ヲ認メテ以テ責任者トシタ

ノハ隨分アリサウナコトデアルノデ、ソコデ(田中正造君)「ソンナコトヲ  
……ト呼フ」マダデス、ソコデ技術上ノ點ハソレト其他帝國議會ノ此衆議院  
ナリ若クハ世間ナリカラ種々會計上行政上ノ不始末トシテ攻撃セラレテ居ル  
點ハ如何デアルカト云フニ、是亦今年夏行政官ヲ派シテ實ニ精密ナル調査ヲ  
遂ゲテ報告モ大分厚イモノガ出テ居ルノデスガ、然シテ其報告ニ依テ見マ  
スレバ政府ハ何等ノ處分スル必要ヲモ認メナイ、其理由ハ如何ト云フニ別ニ  
不都合ガナインオアリマス、此攻擊ト云フモノハ概ね事實ノ誤解若クハ事實  
ノ相違ニ基因シテ居ルヤウニ認メル、單リ政府ノミナラズ今モ主查カラ御報  
告ノ通り平生ハ隨分窮窟ノ論ヲ吐ク所ノ検査院スラ認可ヲ與ヘテ居ル、總テ  
認可ヲ經テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ始末テアリマスカラ行政上ノ方モ問  
フ必要ハナシ、技術上ノ方ハ問ヒタクモ既ニ其責任者タル技術者ハ故人トナッ  
テ居ル故ニ、衆議院ニ於テハ前年ノ五月ニ否決シタ所ノ理由ト云フモノハ  
今日デハ全然消滅シテ居ル、差引キ残ルノハドウデアルカト云フノニ事業ガ  
大切デアル、是ガ唯一ニ殘ツテ居ル、無論國家ノ貿易ノタメニ内外交通ノタ  
メニ非常ニ緊要ナル所ノ工事デアル、而シテ是ヲ今年ノ追加豫算ニ要求シタ  
理由ハドウデアル、ナゼ三四箇月ノ間待タナイト云フ御論ガマダ残ツテ居ル  
カノ様ニ覺エテ居ル、ワレハ斯ノ如キ工事ト云フモノハ一日後レ、バ後レル  
ダケ手戻リト云フモノモアル、又是ガタメニ設ケテアル所ノ準備ト云フモノモ  
空シク手ヲアケテ待タナケレバナラヌノデアルガ、又一人手ヲアケテ待タナ  
ケレバナラヌノミナラズ或ハ段々ニ腐レルカモ知レナイ、機橋ノ如キモノニ  
至ツテハ——故ニ一日モ是ヲ著手ヲ急ガナケレバ國庫ヲシテ損害ヲ蒙ラシメ  
ル、一日延レバ延ベルダケ損害ガアル、搗テ、加ヘテ來年度ニ施行シヤウト思  
ヘバ今日ヨリ材料ヲ買ハナケレバ來年ノ始マリカラ施行スルコトガ出來ナ  
イト云フ事實ガアル、故ニ既ニ是迄モ延引シタ工事デアル、且ツ來年度カ  
ラ著々工事ニ掛ケテ來タトイ思フカラコソ今年度ニ追加豫算ヲ出シテ要求ス  
ル所以デアル、ソレユヘ……

○議長(楠本正隆君) 中村克昌君ハ御了解デゴザイマスカ  
○重野謙次郎君(二百四十五番) 唯今政府委員ノ御答辯ハ中村君ノ質問トハ  
大變違テ居ルヤウデスカラ中村君ガ宜イト云フ所デアルカモ知レマセヌ  
ガ、ドウモ質問ニ對シテノ御答ト大層違ツテ居ル、畢竟此龜裂ノ原因ガ分ラ  
ス事情ガアルカラ分ラヌダラウト私共解釋シテ居ツタ、然ルニ此政府委員ガ  
龜裂ノ原因ト云フモノハ種々ナコトカラシテ行政上斯ウミト云フ説明ガ  
アグタケレドモ、其原因ガ分ラナカツタナラバ又はヲ築港シテモ同ジ結果ニ來  
ルダラウト云フモノハ、原因ガ分ラナカツタナラバ矢張龜裂ガスルダラウト  
一日ノ甚ダ是ハ不經濟デアルケレドモ、原因ガ分ラヌデ復ダヤツタナラバ所  
謂却テ國庫ノ不經濟ヲ來サウト思フ、ダカラ原因ガ分ラヌデモ龜裂ガ來ヌ、  
安心シテ築港ガ出來ルト云フ説明ガナケレバ——ソコガ中村君ガ説明ヲ乞フ  
タ所以ト思フ

○政府委員(都筑馨八君) ワレハ御答致シマスガ、唯今申シマシタ通り原  
因ハイクツモ……(笑聲起ル)此アルト認メテ宜カラト思フノハ今度新タニ  
造ツタぶろづくハ論ヨリ證據崩レナイト云フコトガアル、混擬土塊ハ論ヨリ  
證據水ニ入レテモ崩レナイ、崩レナイぶろづく崩レタ混擬土塊トヲ較ベテ

ノハ隨分アリサウナコトデアルノデ、ソコデ(田中正造君)「ソンナコトヲ  
……ト呼フ」マダデス、ソコデ技術上ノ點ハソレト其他帝國議會ノ此衆議院  
ナリ若クハ世間ナリカラ種々會計上行政上ノ不始末トシテ攻撃セラレテ居ル  
點ハ如何デアルカト云フニ、是亦今年夏行政官ヲ派シテ實ニ精密ナル調査ヲ  
遂ゲテ報告モ大分厚イモノガ出テ居ルノデスガ、然シテ其報告ニ依テ見マ  
スレバ政府ハ何等ノ處分スル必要ヲモ認メナイ、其理由ハ如何ト云フニ別ニ  
不都合ガナインオアリマス、此攻擊ト云フモノハ概ね事實ノ誤解若クハ事實  
ノ相違ニ基因シテ居ルヤウニ認メル、單リ政府ノミナラズ今モ主查カラ御報  
告ノ通り平生ハ隨分窮窟ノ論ヲ吐ク所ノ検査院スラ認可ヲ與ヘテ居ル、總テ  
認可ヲ經テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ始末テアリマスカラ行政上ノ方モ問  
フ必要ハナシ、技術上ノ方ハ問ヒタクモ既ニ其責任者タル技術者ハ故人トナッ  
テ居ル故ニ、衆議院ニ於テハ前年ノ五月ニ否決シタ所ノ理由ト云フモノハ  
今日デハ全然消滅シテ居ル、差引キ残ルノハドウデアルカト云フノニ事業ガ  
大切デアル、是ガ唯一ニ殘ツテ居ル、無論國家ノ貿易ノタメニ内外交通ノタ  
メニ非常ニ緊要ナル所ノ工事デアル、而シテ是ヲ今年ノ追加豫算ニ要求シタ  
理由ハドウデアル、ナゼ三四箇月ノ間待タナイト云フ御論ガマダ残ツテ居ル  
カノ様ニ覺エテ居ル、ワレハ斯ノ如キ工事ト云フモノハ一日後レ、バ後レル  
ダケ手戻リト云フモノモアル、又是ガタメニ設ケテアル所ノ準備ト云フモノモ  
空シク手ヲアケテ待タナケレバナラヌノデアルガ、又一人手ヲアケテ待タナ  
ケレバナラヌノミナラズ或ハ段々ニ腐レルカモ知レナイ、機橋ノ如キモノニ  
至ツテハ——故ニ一日モ是ヲ著手ヲ急ガナケレバ國庫ヲシテ損害ヲ蒙ラシメ  
ル、一日延レバ延ベルダケ損害ガアル、搗テ、加ヘテ來年度ニ施行シヤウト思  
ヘバ今日ヨリ材料ヲ買ハナケレバ來年ノ始マリカラ施行スルコトガ出來ナ  
イト云フ事實ガアル、故ニ既ニ是迄モ延引シタ工事デアル、且ツ來年度カ  
ラ著々工事ニ掛ケテ來タトイ思フカラコソ今年度ニ追加豫算ヲ出シテ要求ス  
ル所以デアル、ソレユヘ……

○田中正造君(百十二番) 二三回應答ヲ致シマスガ、此大切ナル質問ニアリ  
マスガ政府委員ニ少シ御聞キ申シマス、此言葉ト云フヤウナモノヲ摑マヘテ  
質問ハ致サナイ、言葉ト云フヤウナモノヲ摑マヘテ質問ヲ致シマスレバ  
委員ハ僅ニ四分位ノ龜裂——四割ト云フモノハナカく、たいした龜裂ノ部分  
ガ僅カ三分内外ト云フヤウナコトデアルガ、一體サウ云フコトガ僅カナド、  
云フヤウナ言葉ガ是ダケノコトニ附クト云フノハイケナイ、デ此例ヘバ茶碗  
ガひびガイル、一箇所ひびガイレバ全體ノ茶碗ガ皆イケナイノデアル、悉ク龜  
裂スレバ無論ノ話デアルガ龜裂ノ所ガアレバ全體ガイケナイト云フコトハ  
分ツテ居ル、併ナガラ政府委員ハ能ク之ヲ辯護スルガ是ガ職務デアルカラ十分  
ニ辯護サレルガ宜シイ、宜シイガ此質問ト云フモノハサウ云フコトヲ質問ス  
ルノデハナイ、一體此從來外國人ニ斯様ナ大事業ヲ專ラ専任スルト云フ例ガ  
アツタノデゴザイマスカ、是ガ初デゴザイマスカ、斯ル大事業日本ノ本官タ  
ル者ガ其取締ト云フモノハ一般ノ此工事ノ監督權ト云フモノヲ握ラズ、外  
國人ニ大權ヲ專ラ一任シタト云フ例ガアツタノデゴザイマスカ、始テデゴザ  
ルカト云フコトヲ伺フ

○政府委員(都筑馨八君) 唯今私ノ申シマンタ所ノ僅カト申シタノハ(田中  
正造君)ソレハ質問デナイカラ宜シイト呼フ、唯其感覺上或ハ私ノ承クタ所  
デハ凡テガ龜裂シタカノ如キ感ヲ起シタ、龜裂シタカノ如キ御話ガアツタヤ  
ウナ感ヲ起シタ、ソレニ對シテ僅ニ是ダケダト云フタダケデアル、拔テ又外  
國人ヲ斯ノ如キ工事ニ使シタコトガ前例ガアルカドウカト云フ質問ニ對シテ  
ハ既往ノ歴史ヲ能ク調べテ見タ上デ御答致スコトニ致シマス  
○田中正造君(百十二番) 既往ノ歴史ヲ調べテ見タ上デ御答致スコトニ致シマス  
デハ凡テガ龜裂シタカノ如キ感ヲ起シタ、龜裂シタカノ如キ御話ガアツタヤ  
ウナ感ヲ起シタ、ソレニ對シテ僅ニ是ダケダト云フタダケデアル、拔テ又外  
國人ヲ斯ノ如キ工事ニ使シタコトガ前例ガアルカドウカト云フ質問ニ對シテ  
ハ既往ノ歴史ヲ能ク調べテ見タ上デ御答致スコトニ致シマス  
○日本ノ本官タル者ガ坐シテ仕事ヲシナケレバナラヌ精神ニ出来テ居ル、憲法  
ノ第十九條ハ疾ク御承知ノコトデアル「日本臣民ハ法律命令ノ定ムル所ノ資  
格ニ應シ均シク文武官ニ任セラレ及ヒ其他ノ公務ニ就クコトヲ得」斯ウ云フ  
ノデアル(笑聲起ル)是ヲ笑シテハイケナイノデアル、外國人タル者ハ傭ト云フ  
者ニハ或ハ公務ニ就クコトハ出來ルケレドモ、本官トシテ是遣使ツタ例ガナ  
イノデアル、斯ノ如キ大事業ヲシテ本官同様ニ外國人ヲ用ヒタト云フコトガ  
分ラヌノデアル、既往ノ歴史ニ依シテ能ク御調ナサルガ宜シイガ、「既往ノ歴  
史ヲ調ベルヲ俟タズシテ是ダケニシテカラガ、斯ノ如キ大權利ヲシテ傭ノ外  
國人ニ任せ、外國人ガ死シダカラシテ日本ノ本官吏ハ——日本ノ本官吏タル  
者ハ責任ヲ負ハヌト云フ答辯デハドウモダ議場ニ於テ御答辯ノ缺點ガアラ  
ウト思フ、宜シク憲法第十九條ノ精神ヲ誤ラヌヤウニシテ、成程唯今答辯ヲ

ナサル所ノ政府委員ハ惡ルイコトノ御仲間デナイカラシテ笑ノ意味ヲ含ムデ御答辯ナサルモ宜シ、又列席シテ居ル所ノ政府委員諸君此問題ニ就イテ往々笑ノ意味ヲ含ム、諸君ノ議論ニ就イテ或ハ笑ノ意味ヲ含ム、何ガをか、斯ノ如キ泥棒ガアツテ斯ノ如キ不正ナル誰カンラ惡ルイやつガ出ナケレバナラヌ、ドコヘカシラ惡ルイコトヲシタやつガ出ナケレバナラヌ、何ゾ備外國人ニ此責ヲ歸シテをめくト之ヲ宜イ面ヲシテ居ルト云フニ至ッテハ實ニ人間トシテ人間ノ根性ヲ備ヘナイノアルト認メナケレバナラヌ（笑聲起ル）何ガをのいいノデアル、斯ノ如ク國家ノ事ヲ取扱フ輕卒ニシテ、凡ソ人ト云フ者ハ容貌ニ於テモ其人ノ真相ガ分ルノデアル、政府委員タル者ハ宜シク鄭重ヲ加ヘスノ如ク宜シクナイコトハ誰カ此事ニ就イテ是ヲ悅ブモノガアル、宜シク其責任ヲ負フ途ヲ明ニ御答辯アラムコトヲ願ヒマス

○政府委員（都筑馨六君）えらい妙ナ御質問デ御答辯ニ苦ミマスガ、一番先キニ御答辯致シマスハ笑ハ致シマセヌト云フコトヲ御答辯致シマス、ソレカラ次ニ技術上ノ事ハ主權ノ一部ヲ分擔セシムル所ノ官吏ノ仕事ノ如キモノデナイ、外國人ノ雇カラシテモ不都合ハナイソレハ政府ノ取扱ニテ居ル意見ト言テモ宣カラウト思フ、若シ是ヲ嚴シク云フテ來ルナラバどどノ詰リ外國ニ軍艦モ逃ヘルコトモ出來ナイコトニナラウト思フ、技術上ノ點ニ就イテハ外国人ノ技能ヲ使フ——外國人ノ技能ヲ使フタカラト云フテ別ニ何モ差支ナイ、其他隨分ひどい御言葉モ出マシタガ是等ハ宜シクモウ私ノ答辯ヲ俟ツ迄モナイ、實ニ將來ハ斯ウ云フ言葉ヲ御使ヒニナルコトヲ御慎ミアルコトヲ希望ヘ……

（田中正造君「何ガ惡ルイ、泥棒ヲ召取テ出セ」ト呼フ）

○重野謙次郎君（二百四十五番）尙ホ政府委員ニ質問シタイ事がアル、私ハ安心ヲシテ宜イト云フコトナレバ原案ニ贊成スルガ中村君カラ政府委員ノ御答ヘ……

○議長（楠本正隆君）靜ニ——靜ニ

○重野謙次郎君（二百四十五番）政府委員ニ御答ヲ願ヒタイ、ソレデ先刻政府委員ノ御答テハアトテヤツタノハ是レヒトノ注意ヲシタラ是ハ龜裂ヲシナカッタト、カウ云フ御答ガアツタ、宜イケレドモ原因ガ分ラナケレバ是ハ偶然龜裂ヲ生ジナカッタモノデアルト云フ論ヲ下スデアラウ、ソレカラ築港ヲシテ龜裂ヲシタ黓ノ年限ハドレ位掛ツタカ御聞キ申シタイ、然ルニアトノ此間拵ヘタノハ龜裂ガナイト云フノハ間モナイコトデアラウカラ、是ヲ以テ龜裂ハナイモノデアルト云フコトハ信用ヲ置クコトガ出來ナイノデアラウ思フ、ソレデアルカラ前カラドレ位年月ガタツタカト云フコトヲ御尋申シタイ、ソレラノコトヲ安心ガ出來ルヤウニ説明ヲ願ヒタイ

（政府委員内務省土木技監工學博士古市公威君演壇ニ登ル）

○政府委員（古市公威君）重野君ニ私カラ御答ヲ致シマス、ドウモ私ノ辯明ハいつデモ講釋メクサウデスガ是ハ技術上ノ問題ハ少々我慢ヲ願ヒタイ（重野謙次郎君「年月ダケヲ願ヒタイ」ト呼フ）年月ダケナレバ宜シウゴザリマスガ、大凡龜裂ヲ生ジタノハ六箇月位デ生ジテ居ル、六箇月以内位デアリ早一年餘タツテ居ル、ソレデ今日迄ドウモナイ、ソレカラ尙ホ前政府委員ノ

申述べタコトヲ補ヒマスガ、是カラ少シ講釋メキマシテ少シ分ラヌヤウデアルカラ述ベテ置クガ材料ガ一ノ問題デアル、材料ガ良イ材料ヲ果シテ使ッタカ惡ルイ材料ヲ使ヒヤセヌカト云フコトヲ後ニ證明スルコトガ出來ナイ、先ヅ良イ材料ヲ十分ニ調査シテ使ッタ、是ガ一つ、其次ハ混せ方、混せ方ハ御承知ノ通り砂トせめんとヲ混ぜ合セル、此割合ガ砂一二せめんと一ト云フ割合モアルシ、砂二ニせめんと一ト云フ割合モアルシ、二半使フトカ——せめんと一一對シテ二半使フトカ云フ種々ノ割合ガアル、築港局デ從前使日來タ割合ヨリハモウ少シせめんとヲ殖ヤシテアルヤラ、是モ空ニ殖ヤス譯ハナイ、築港局デ使ッタ割合ハ他デ使ッタ割合デナイカト云フニ、サウデナイ、使フ割合デアルガ、ドウモ龜裂ヲ生ズルノハ海水ノ働ダラウ、海水ガ働くナイヤウニスルニハ混凝土塊ヲ緻密ニスルガ宜シイ、緻密ニスルニハせめんとノ分量ヲ殖ヤシテ見ヤウ、是ガ違ツテ來テ居ル、ソレカラ次ニ突固メ方、是モ強チ必ズシモ混凝土塊ヲ拵ヘルニハあんば使ハナケレバナラヌト云フ規則ガアルノデナイン、塊マツテ石ノ形ニナレバ宜イソレヲ突固メテハ成程宜イニ違ヒナイカラ是ハ十分ニ注意ヲ加ヘテ突固メテ見ル、蓋シ人ノスル仕事デアルカラ前ノ拵ヘ方前築港局デ拵ヘタ混凝土塊ノ或ル部分ハ能ク突固ッテ居ッテ、或ル部分ハ突固マラナクッテソレガタメニ宜ク突固ッタ分が割レナクッテ、惡ルカツタノガ割レタノカモ知レナイケレドモ、是ガ分ラヌ、今度ハ使フ方デアリマス、又使フノフノデアリマス、ソレカラ其材料ノコトモアトニ戻リマスガ材料ノコトデ御話スレバ、好イ材料ヲ使ツタノガ其儘デ居ッテ惡ルイ材料ヲ使ツタノガ割レタカモ知レナイケレドモ是ガ分ラヌ、今度ハ使フ方デアリマス、又使フノニアレハ何日ノ間拵ヘタ處ニ据ヘテ置ク、ソレカラ靜ニ動カサズニ脇ニ寄セテ置ク方ガ宜イケレドモ——是ハ長イ方ガ宜イケレドモ格別確カト極ッタコトハナイ、是等ヲ十分ニ長イ間置クヤウニシタト云フノガ是ガ一つ、是ハ唯注意デアリマスガ嚴重ニ早ク動カサナイヤウニシテ造ツタ、サウシテ造ツタノガ色ミノ種類デ五種程造ツタ、造ツタノガ三百なんばアル、ソレヲ昨年——昨年海ニ入レテ見タ所ガ今日迄何モ生ジナイ、シテ見ルト一方デハ他ニ又龜裂ヲ生ジナイ前拵ヘタモノデ龜裂ヲ生ジナイモノガアル、又他ノ場所ニ於テ混凝土塊ヲ使ツテ居ッタモノモアツテ、サウシテ龜裂ヲ生ジテ居ラヌモノモアル、委員ノ拵ヘタるづくハドウモナツテ居ラヌ、シテ見ルト是ダケノ注意ヲ加ヘテ此方法ニ依ツテ拵ヘタナラバ龜裂ヲ生ジナイト信ズルノガ、先ヅ當リ前ト思フ則チ本員ナドモサウ確信シテ居ル、是カラ先キハ此拵ヘルニハ始終監督ヲ嚴ニシテ此通り監督シテ往ツタナラバ最早動クコトハアルマイト考ヘテ居ル

○守屋此助君（百一番）先キノ政府委員ノ御説明ニ龜裂ガシタノハソレハ誰ニ過失ガアルカト段々調べテ見ルト死ンデ仕舞ツタ技師長ニアツタトスウ云フコトヲ言ハレタガ、ソレハ今登壇サレタ政府委員ニ於テモ其通り御認メデゴザイマスカ

○政府委員（古市公威君）サウデス、サウ認メルヨリ仕方ガアリマセヌ、ソレハ先キノ政府委員ノ言フタコトニ就イテ大分御笑が發シタヤウデスガ、外

ニ技術モアルジヤナイカト云フ論ニ對シテ、製造ニ掛クテ居ラナヌダト云フ  
コトニ就イテ御笑ガ出タ、若シ此技師ガ何ヲシテ居ツタト云フト云フ  
使ツタ此使方ガ惡カツタニ依ツテ龜裂シタモノデアレバ是ヲ罰シナケレバナラ  
ナイ、然ルニソレガ調合方ガ惡ルカツタメニ出來タノカ、突固メヲ監督シ  
タ技師ノ惡ルカツタメニ龜裂ヲ生ジタカ、確實デナイ以上ハ分擔シタ技師  
ヲ罰スルト云フコトハ出來ナイ、ドウシテモ是ヲ合セテ責任ヲ有ツテ居ル技  
術官ガソレヲ脊負フヨリ外ニ致方ガアルマイト思ヒマス  
○守屋此助君(百一番) サウスルト技師長ノ過失デゴザイマスカ、ドウ云フ  
コトガ過失ニナルノデゴザイマス、技師長ノ過失ノ點ヲ舉ゲテ見ルト死人ニ  
口ナシデソレデハ今ノ内閣ハのんのこしやで餘り蟲ガ宜過ル  
○政府委員(古市公威君) ワンナニ蟲ガ宜過ギナイ、ドウシテモ……  
○守屋此助君(百一番) 事柄ガ惡ルイト云フコトハ知レテ居ルカラ誰ガシタ  
ト云フト死ムダ人ガ惡ルイ、死ムダ人ノ惡ルイノハドノ點デアルト云フコト  
ヲ問フノデス  
○政府委員(古市公威君) 技術ニ關係スル所ノ全體ニ對シテ責任ヲ負フノデ  
アルカラ……  
○守屋此助君(百一番) ソレカラ短ク御互ニヤラヌトイケマセヌガ……  
○政府委員(古市公威君) 責任問題ハ私ハ止メマセウ  
○守屋此助君(百一番) 明治二十三年頃ニ此せめんとデ——こんくりーと  
○政府委員(古市公威君) 責任問題ハ私ハ止メマセウ  
○守屋此助君(百一番) ソレニ就イテ私ハ内閣ニ責任ガアルカナイカト云フコトニ就イテ問ハウト思  
テ、其時分ノ仕事ヲバ死ムダ技師ニ内閣ガ委任シテヤラシタノデアルカラ、  
出来損フテモサウ過ガナイカト云フコトヲ先刻仰ツタヤウデシタガ、  
ソレニ就イテ私ハ内閣ニ責任ガアルカナイカト云フコトニ就イテ問ハウト思  
フノハ、百万圓二百万圓ノ大金ヲ擲ッテスル仕事ヲ、發明ヲシタ人ガ未だ試  
験ヲナシツ、アルモノヲ日本デハ事實ノ仕事ニ内閣ガ施シテ置イテ出來損フ  
タトキニハ内閣ニ責任モ何モナイト云フ斯ウ云フ御趣意デゴザイマスカ  
(政府委員内務省土木局長都筑馨六君演壇ニ登ル)  
○政府委員(都筑馨六君) 此問題ト云フモノハ隨分今著々進歩シツ、アル所  
ノ問題デ、技術上ノ進歩其他ノ點ニ就キマシテ且ツ又此問題ハ新シイ問題ト  
云フ點ニ就キマシテハ、古市政府委員ノ方が私ヨリ明ニ答辯ヲシ得ルデアラ  
ウト思ヒマスカラ是ハ姑ク差措イテ、斯ノ如キ日新ノ事業ニ就イテ其當時即  
チ今ヨリ五六年前ノ二十二年ニ於テ此故人トナツタ所ノ技師長ヲ内外共ニ認  
メテ適任者ト思フタノハ、隨分有勝ノコトデアツテ、決シテ是ヲ強チ尤ム  
ヘキコトデハナイト申シタノト、ソレカラ今一ツハ御問ニ就キマシテ序ニ  
申シテ置キタインハ成程法理上カラ云ヘバ、裏店ノ小僧ガ猫ニ石ヲ打付ケ  
タコトニ就イテマデ或ハ内務大臣ガ責任ヲ取ラヌケレバナラヌカモ知レヌケ  
レドモ、是ハ學校デ説ク法理學デ逆モ實際ニ於テ技術上ノ過マデ々是ヲ行  
政官ノ過失トシテ尤メテ行カニヤナラヌト云フコトハナインデゴザイマス  
○守屋此助君(百一番) 其講釋ヲ聞クノジヤナイ——其講釋ハ宜イ、私ノ問  
ニ説明ガナイカラ聞クノデ、ト云フモノハ内閣ガ發明ヲシタ人ガ試験ヲナシ  
ツ、アル仕事デソレデアルカラ横濱デモ數回色遣テ見タ、日本デハ屢々試  
験ヲ要スルト云フ此仕事ヲバ大體ニモ莫大ノ金ヲ使フ仕事ヲ政府ガスルト決  
心ヲシテサシタノハソレハ内閣ニ責任ハナイ、内閣ノ仕事ハ善良ナヤリ方デ

アルト云フ……

○政府委員(都筑馨六君) サウ云フコトヲ私ハ御答ヲシタ積デハナイデスガ

○守屋此助君(百一番) ソコハドウデス  
○政府委員(都筑馨六君) ソコハ問題ガ能ク分リマセヌ○守屋此助君(百一番) 能ク分ラナイノデハナイ、答辯ガ出來ナイノデセウ  
○政府委員(都筑馨六君) 決シテサウジヤナイ、答辯ヲ爲シ得ルコトナラ爲  
シマスガ……○守屋此助君(百一番) 宜シイ——答辯ガ出來ヌナラソレデ宜イ  
○末廣重恭君(百七十三番) 本員ノ見マスル所デハ此問題ハ豫算ノコト、責  
任ノコトヲ分別シテ掛ル方ガ餘程都合ガ好カラウト考ヘル、デ豫算委員ノ御  
報告ヲ見マスレバ事業ガ必要ナコトデアツテ延バサレヌニ就イテ是ヲ賛成ヲ  
サレタト云フノハ是モ尤モ至極ナコトデアツテ、此事業ヲ打置キマスルガタ  
メニ大ニ國ノ損害ニナルト云フコトデアルカラ、此事業ヲ急グコトモ尤モナ  
テ討論ヲ始メマス——末廣重恭君(未廣重恭君演壇ニ登ル)  
○末廣重恭君(百七十三番) 本員ノ見マスル所デハ此問題ハ豫算ノコト、責  
任ノコトヲ分別シテ掛ル方ガ餘程都合ガ好カラウト考ヘル、デ豫算委員ノ御  
報告ヲ見マスレバ事業ガ必要ナコトデアツテ延バサレヌニ就イテ是ヲ賛成ヲ  
サレタト云フノハ是モ尤モ至極ナコトデアツテ、此事業ヲ打置キマスルガタ  
メニ大ニ國ノ損害ニナルト云フコトデアルカラ、此事業ヲ急グコトモ尤モナ  
テ討論ヲ始メマス——末廣重恭君○守屋此助君(百一番) 本員ノ見マスル所デハ此問題ハ豫算ノコト、責  
任ノコトヲ分別シテ掛ル方ガ餘程都合ガ好カラウト考ヘル、デ豫算委員ノ御  
報告ヲ見マスレバ事業ガ必要ナコトデアツテ延バサレヌニ就イテ是ヲ賛成ヲ  
サレタト云フノハ是モ尤モ至極ナコトデアツテ、此事業ヲ打置キマスルガタ  
メニ大ニ國ノ損害ニナルト云フコトデアルカラ、此事業ヲ急グコトモ尤モナ  
テ討論ヲ始メマス——末廣重恭君



事業ニ就イテモ斯ウ云フヤウナコトガアレバ尙ホ又我衆議院ニ於テ大ニ體面ヲ損スルヤウナコトニナルダラウト思フ、殊ニ前議會ニ於テ否決シタル問題ヲ同一年度内ニ於テ是ヲ又提出シ來ルト云フコトニ就イテハ宜シク其責任ヲ問ヒ其責任ヲ明ニシテ來レバ宜シイケレドモ、未ダ其原因ヲモ極メズ不都合ノモノヲ以テ來タノデハ、此工事ハ必要ニアツテモ斯ル政府ニ此工事ヲ協贊シテサセルト云フコトハ私ハ不同意テゴザイマスカラ、是ヲ削除スルト云フ

○德増源太郎君(二百八番) 論旨ハ盡キテ居リマスカラ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○德増源太郎君(二百八番) 論旨ハ盡キテ居リマスカラ討論終結ノ動議ヲ提出来タノデハ、此工事ハ必要ニアツテモ斯ル政府ニ此工事ヲ協贊シテサセルト云フコトハ私ハ不同意テゴザイマスカラ、是ヲ削除スルト云フ

○〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 討論終結ノ動議ハ四方ニアリマスデ、別ニ決議ヲ採リマセヌデ、討論終結ト認メテ宜シカラウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 決ヲ採リマスル、大藏省所管陸軍省ノ所管、此二款ニ就イテ修正モナシ御質問モゴザイマセヌガ、御異議ナクバ可定ト認メヤウト思ヒマス

○〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 決ヲ採リマスル、大藏省所管陸軍省ノ所管、此二款ニ就イテ修正モナシ御質問モゴザイマセヌガ、御異議ナクバ可定ト認メヤウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 然ラバ決定セラレタルモノト心得マスル次ハ第十款、此十款ニ對シテハ少數者ノ意見モアリ、其他ノ反駁モゴザイマスルガ、同ク是ハ原案ニ附帶スル反對デゴザイマスルカラ規則ニ從ツテ原案ニ就イテ決ヲ採リマス、修正テハアリマセヌカラ原案ニ就イテ決ヲ採ルガ正則デアリマス、第十款原案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

(水野書記官長起立者ノ數ヲ算フ)

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス

○〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 閉鎖ヲ命ジマスル——氏名點呼ヲ行ヒマス——是ヨリ點呼ヲ始メマスル

(木下屬議員ノ氏名ヲ點呼シ林田書記官可否ヲ應呼ス)

○議長(楠本正隆君) 諸君、點呼ノ結果ヲ報ジマス

總數二百四十一  
可トスル者  
否トスル者

百二十三  
百十八

原案ニ決シマス

(拍手起ル)

○議長(楠本正隆君) 次ハ第十一款ヨリ大藏文部兩省ヲ通ジテ都テ朗讀ヲ省イテ決議ヲ採リマス

(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 別ニ御異議ガナクバ是モ可定セラレタモノト認メマス、次ハ乙號是モ朗讀ヲ省キ全部ヲ議題ニ供シテ決議ヲ採リマス

(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナケレバ乙號ハ皆可定セラレタモノト認メマス——ソレヨリ此豫算ト申ス所デゴザイマス、是ハ中ニ差引ガゴザイマセヌカラ自然ノ結果トシテ別ニ決議ヲ採リマセヌ

(〔宜シイ宜シ〕ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ乙部——乙部ノ甲乙ヲ通ジテ全部ヲ朗讀ヲ省イテ議題ニ供シマスル

(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 是モ別ニ修正説モナシ悉ク可定ト認メマス

○武市彰一君(百七十六番) 少シ質疑ガアルノデアリマスルガ

○議長(楠本正隆君) 御質疑ガアレバ……

○武市彰一君(百七十六番) 政府委員デナクシテ豫算委員ノ主査カ何カニ海軍省ノ部ニ就イテ御尋シマス

○議長(楠本正隆君) 豫算ノ主査、四十八番

(坂田昌熾君演壇ニ登ル)

○武市彰一君(百七十六番) 此海軍省ノ中ニ千島艦訴訟費用、是御調ニ就イテ伺ヒタイト思ヒマス、第一ニ第一號豫備金ヨリ流用シタト云フコトヲ是認レタト云フコトハ如何ナル譯カト云フコト、第二ニ第一豫備金ノ性質ハ申迄モナイ、然ルニ元ト千島艦訴訟費用ト云フ項ハ二十六年度ノ豫算ニハナイ苦デアル、然ルニ二十七年度ニ至ツテ前年度ノ豫算ヲ用ヒテ居ル場合ニ當ツテ、第一豫備金カラ之ヲ流用シタト云フノハドウ云フ譯デアル、ソレニ就イテドウ云フ御調ヲ爲シタト云フコト

○坂田昌熾君(四十八番) 分リマンシタ、千島艦ノ事件ニ就キマシテハ元ヒアノ初ニ訴訟ヲ起ストキノ費用ハ矢張豫備金カラ出テ居ル、ソレデ今年度ノ中カラ是迄矢張第一豫備金カラ出シテ居リマシタケレドモ、豫備金ガナクナタニ依ッテ今度五千圓新ニ此追加豫算ヲ請求ニナシタノデアリマス、此廳費ノ中ニハ元ト訴訟費ト云フモノガアルノデゴザリマス、皆ドノ廳費ニモ訴訟費及賠償費ト云フモノガアル、ソレガ極ク少ナクツテ自然ト豫備金ヲ以テ使ハナケレバナラヌヤウニナシタ

○武市彰一君(百七十六番) サウスルト不成立ニナリマシテモ、二十六年度ノ廳費ノ中ニ訴訟費ト云フモノガアルノデゴザリマス、皆ドノ廳費ニモ訴訟費云フノデスカ

○坂田昌熾君(四十八番) サウデアリマス  
○議長(楠本正隆君) 然ラバ此案モ悉ク可定セラレタモノト認メマス——次ハ特別會計歲入歲出造砲ノ部迄兩冊合セテ議題ニ供シマス、朗讀ヲ省キマス

(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ悉ク是モ同ジク可定セラレタモノト認メマス——次ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ノ件、朗讀ヲ省イテ同ジク議題ニ供シマス

(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

## 第二 明治二十三年法律第八十四號改正法律案

## 第二讀會

○議長(楠本正隆君) 該案ノ決議ヲ採リマス

○小西甚之助君(六十三番) 本案ハ御朗讀ガアルト思フテ待ツテ居リマシタ、私ハ是ニ對シテ修正ノ意見ヲ述べマス

○議長(楠本正隆君) 宜シウゴザリマス、登壇ヲ促シマス

(小西甚之助君演壇ニ登ル)

○小西甚之助君(六十三番) 私ガ本案ニ對シテ試ミヤウトスル修正ハ最モ簡單ナルモノデコザリマス、全ク一字ノ文字ヲ改ムルニ過ギナイコトデアル、然カモ其改メタル文字ノ意味ニ於テハ少シモ變更ヲ來タサナイモノデアル、サリナガラコハ決シテ其儘ニ差シ措クベキモノデナイト信ジマズルガ故ニ、殊ニ茲ニ修正ト出掛ケマシタ次第デアル、一體本員ハ實ニ潔癖アル男デアル、

ソコデ苟モ本員ノ視線ノ觸ル、所トナッテ氣ニ入ラナイコトガアレバ決シテ之レヲ雲烟過眼ニ附スルコトノ出來ナイモノデアル、況ヤ最モ法ノ威嚴ニ

關シ決シテ是ヲ忽視スベカラザルモノト見ルニ於テハ茲ニ是ヲ修正スルコト

又止ムヲ得ザル次第テゴザリマス、少シク怜憐氣ニ申スコトデハアルケレドモ、凡ソ法ヲ立テ若クハ是ヲ改ムルニ於テハ成ルダケ其法文ヲ嚴正ニシナケレバナラスト思フノデアル、此法文ヲ嚴正ニシナイニ於テハ人ヲ威服サスル

上ニ於テ甚ダ完全ヲ缺クモノデアル、遺憾トスル所ノモノデゴザイマス、サ

ウシテ法ノ威嚴ヲ保ツニハ其道ヤ一ツアル、之ヲ有形ノ上ニ於テ保ツコトアリ、又無形ノ上ニ於テ保ツコトモアル、無形ノ上ニ於テ保ツノハ何デアル

カ、即チ同種類ノ法律ニシテ其法文ノ意味ガ種々ニ分レナイヤウナコトニ注意ヲスルコト則チ是アル、又有形ノ上ニ於テハ其法文ノ嚴正ニシテ(ドウスルノデス「簡単々々」ト呼フ者アリ)決シテ此同一ノ法文ニシテ(「簡單簡單ノト呼フ者アリ」)一箇相觸ル、ト云フコト則チ是デアリマス(前文ハ略シテ「好イ加減ニシテ下サイ」ト呼フ者アリ)若シ此事ニ就イテ忽ニスルニ於テハ法ノ威嚴ヲ保ツコトガ出來ナイコトデアル、法ノ文ハ則チ法ノ形體デアル、法ノ容貌デアルト云フテモ宜シイコトデアル、然ラバ必ズ此法ノ文ハ之ヲ嚴カニシ之ヲ正シクシナケレバナラズモノデアル(「同感々々」「何ダカ分ラナイ」本文ハドウスルノデス「ト呼フ者アリ」)而シテ此議案ヲ見ルニ行政命令ニハ「五拾圓以内ノ罰金若クハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得」ト書イテアルノデアリマス、是レ私ニ於テ改メナケレバナラストスル文字ガアルノデアル、其文字ハ追々分ルノデアル(今仰シヤイ「ト呼フ者アリ」)凡ソ法ニハ其本ニ立ツモノト其枝ニナルモノト此區別ノアルコトハ勿論デアル、先づ一例ヲ申スナレバ(例ハイラナイ「ト呼フ者アリ」)此法案ニ對スル本ニ立ツベキモノハ何デアルカ、則チ刑法ノ總則デアル、刑法ノ總則中ニハ諸君モ御承知ノ如ク凡ソ他ノ法律規則ニシテ別ニ法則ヲ掲ゲナイ時ニ於テハ此刑法ノ總則ニ據ルト云

フコトハ明カナコトデアル、是ニ因シテ之ヲ見ル時ニハ此法案ノ如キハ則チ其枝ニ屬スルモノデアル、然ルニ其本ニ立ツ所ノ刑法ノ總則ト是ヲ較べラル時ニ於テハ則チ本枝ノ別アル法律ナルニ拘ラズ、刑法ノ總則ニアル所ノ文字ト爰ニアル所ノ文字ト異ナルモノデアル、是レ正サナケレバナラナイトス

ル譯デアル(「ドウ直スノデスカ早ク「ト呼フ者アリ」其總則ニハ諸君モ御承知ノ如ク罰金等ノ高ノ範圍ヲ規定シテアル所ノ文字ガ如何ニ書イテアルカ、則チ罰金ノ如キ何圓以外或ハ何拾圓以内ト云フコトハ書イテナクテ、則チ何圓

以上何拾圓以下ト云フコトニシテアル、則チ是ガ之ニ對スル所ノ本ニ立ツベキモノデアルガ故ニ、其枝タル所ノ本案ニ於テモ此文字ト云フモノハ改メナ

ケレバナラストスルノデアル、是レ實ニ些々タル如キコトデアル、然レドモ

前ニ申スルガ如ク其文字ヲ嚴正ニシテ法ノ威嚴ヲ保ツト云フ上ニハ縱令些々タルコト、雖モ決シテ之ヲ黙々ニスルコトハ出來ナイ、些少ナルコトデアル

トシテ諸君嘲ルコトヲ休メヨ、笑フコトヲ休メヨ、私ガ此些少ナル所ノ修正ナルニモ拘ラズ自席ニ於テ述ブルコトヲ爲サズシテ、遙ニ此處ニ登壇ヲシテ

ト云フコトハ全ク右ノ趣意ノ存スル所アルガ故デアル、諸君ドウカ此意ノアル所ヲ諒セラレテ贊成ノ榮ヲ賜ハラムコトヲ望ムノデアリマス、併ナガラ此

一字ノ修正ノタメニ長タラシキ説明ヲ致シタノハ深ク諸君ニ謝サナケレバナラヌコトデアル

○議長(楠本正隆君) 諸君——贊成ガ二十名ヲ要シマス、五拾圓以下ト改メルト云フノデス

○議長(楠本正隆君) 諸君——贊成ガ二十名ヲ要シマス、五拾圓以下ト改メルト云フノデス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○池谷繁太郎君(六十二番) 小西君ニ贊成シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 贊成者定數ニ滿チマセヌ

(「決々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 小西君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立

(起立者 少數)

○議長(楠本正隆君) 少數——次ハ三讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、三讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 小西君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立

(起立者 多數)

○議長(楠本正隆君) 多數デス、次ハ第三……

○議長(楠本正隆君) 直ニ三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ請求ニ應ジテ引續イテ直ニ三讀會ヲ開キマス

明治二十三年法律第八十四號改正法律案

第三讀會

○議長(楠本正隆君) 朗讀ハ省キマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ皆可定ト認メマス——次ハ第三ニ移リ

○議長(楠本正隆君) 朗讀ヲ致シマセウ

第三 明治十五年第十七號布告廢止法律案(西村)

第一讀會

明治十五年十一月第七十號布告ヲ廢ス  
○議長(楠本正隆君) 西村眞太郎君

○西村眞太郎君(二百一番) 簡單デアリマスカラ此處デ申述ベマス

○議長(楠本正隆君) 宜シ

○西村眞太郎君(二百一番) 此案ヲ提出致シマシタ所ノ理由ハ、既ニ此理由書ニモアリマス通り此布告ニヨリマスレバ府縣會議員ハ會議ニ關スル事項ノタメ他ノ府縣會議員ト聯合集會若クバ往復通信ヲモ禁ジタル所ノモノデアリマスル、斯ノ如キモノハ代議政體ノ下ニ存續スペキモノデナイト信ジマス、殊ニ各府縣ノ土木費監獄費等ニ關シ其他通信往復ヲスベキコトハ事實ニ於テ必要ノコトデアリマス、故ニ此布告ヲ廢止シタイト云フノデ本案ヲ提出シタ所以デアリマス

〔賛成々々ノ聲起ル〕

〔小西甚之助君演壇ニ登ル〕

〔今度ハ簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

○小西甚之助君(六十二番) 又候登壇ヲ致シマシタ、私ハ本案ニ對シテハ反對ノ意見ヲ持テ居ル者デアル、サリナガラコハ決シテ本案ヲ廢止スルコトハイケナイト云フノ意見デハナイ、全ク本員ノ考ヘル所ニ依ルト云アト飭業ニ明治十五年ノ第七十號ノ布告ハ其效力ヲ失却シテ居ルモノデアルト信ズルガ故ノコトデアリマス、何ニ依テ此明治十五年ノ第七十號ノ布告ハ既ニ其效力ヲ失却シテ居ルカト云フニ、抑、故アルノデゴザイマス、則チ是ニ附シテアル所ノ制裁法則チ「前項ノ場合ニ於テ解散ノ命ニ從ハサル者ハ集會條例第十三條ニ依テ處分ス」ト云フ此制裁法が既業ニ消滅シテ居ルガ故ニ、從テ此府縣會議員ノ連合集會若クハ往復通信ト云フコトヲ禁ジタル條項モ又々消滅シテ居ルト云フコトヲ述ブルニ躊躇シナインモノデアル、何ニ依テ此制裁法ガ消滅シテ居ルカト云フニ、第一ニ於テ明治二十三年ノ法律ノ第五十三號ヲ以テ集會及政社法ト云フモノガ出來タノデアル、是ハ寧ロ集會條例ヲ改メタト云フヨリカ集會條例ト云フモノハナクシテ仕舞タテ更ニ集會政社法ト云フモノヲ創立シタモノト云ツテモ宜シイ位ノコトデアル、殊ニ又茲ニ集會政社法トナッタルニモ拘ラズ更ニ明治二十六年ニ於テ此集會政社法モ又ニ改メラレタルモノデアル、全部ノ改正ヲ經タルモノデアル、然ラバ此集會條例ノ第十三條ニ依タテ處分スルト云フ制裁法ハ既業ニナクナタテ仕舞タテ居ルモノデアル、凡ソ或ル事ヲ命ジ或ハ或ル事ヲ禁ズル場合ニ於テ、是ト同時ニ制裁法ヲ定メテ置イタ時ニ於テ、若シ其制裁法ガ消滅ニ歸シタナラバ是ト同時ニ其命令シタル者其禁止シタルモノ共ニ消滅ニ歸スト云フコトハ争フベカラザル法理ノ存スルモノデアル、斯ク言ハ、或ハ論者斯様ナ考ヲ持ツカモ分ラナイ、則チ此明治十五年ノ第七十號ノ布告ノ制裁ト云フモノハ「簡單」ト呼ブ者アリ) 第二段ニナッテ居ル、第一段ノ制裁ト又第一段ノ制裁トガアル、ザル法理ノ存スルモノデアル、斯ク言ハ、或ハ論者斯様ナ考ヲ持ツカモ分ラナイ、則チ此明治十五年ノ第七十號ノ布告ノ制裁ト云フモノハ「簡單」ト呼ブ者アリ) 第二段ニナッテ居ル、第一段ノ制裁ト又第一段ノ制裁トガアル、則チ第一段ノ制裁トハ何デアルカ、此府縣會議員ノ連合集會若クハ往復通信ト云フコトガアル時ニ於テ是ヲ府縣知事が解散ヲ命ズルト云フコト、是ガ則チ第一段ノ制裁デアル、サウシテ此解散ヲ命ジタルニモ拘ラス尙ホ是ニ從ハナイト云フ時分ニ始テ集會條例ノ第十三條ヲ以テ罰スルト云フコト、是ガ則チ第二ノ制裁デアル、則チ此七十號ノ布告ナルモノハ一法ニシテ一ツ

ノ制裁ヲ持ツテ居ル、第一段ノ制裁ト第二段ノ制裁ト則チ是デアル、所ガ假ニ集會條例ナルモノハ集會政社法ト云フモノニ依ツテ消滅ニ歸シタルモノトシテ全ク此第二段ノ制裁法ガナクナッテ仕舞フ迄ノコトデアリテ、第一段ノ制裁法則チ(「謹聽仕リ兼候」ト呼フ者アリ)解散ヲ命ズル場合ニ於テ是ニ應ジナイト云フ時分ニ罰スル所ノ制裁ハ則チ消滅シタシテモ、之ヲ解散スルト云フ制裁ハ残ツテ居ルモノデアル(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)故ニ此連合集會若クハ往復通信ヲ禁ズルト云フコトハ尙ホ效力ヲ存シテ居ルト言ハル、人ガアルカモ分ラナイノデアル、然レドモ是レ全ク其一ヲ知シテ其二ヲ知ラナイモノト云ハナケレバナラヌ、何トナラバ當時ノ立法ノ精神ニ立歸ツテ考ヘテ見タナラバ明ニ分ルコトデアル、此明治十五年第七十號ノ布告ヲ定メタル當時ノ精神ハ如何ナルモノデアルカ、一ノ禁止法ニアツテ聯合集會ヲスルコト又往復通信ヲスルコトヲサ、ナイト云フコトニシタモノノデアル、サウシテ此サ、ナイト云フ禁止法ヲ厲行セムガタメニ茲ニ解散ヲ命ズルト云フコトノ特權ヲ府縣知事ニ與ヘタモノノデアル、拔テ此特權ヲ與ヘタ故、此特權ヲ用ヒテ解散ヲ命ズル、然ルニ其解散ニ應ジナイ、是ニ於テ又第二ノ制裁則チ第二ノ厲行ヲ爲サムガタメニ集會條例第十三條ニ依ツテ處分スルト云フコトニ定メタモノデアル、故ニ茲ニ第十三條ニ依ツテ處分スルト云フコトヲ既ニ仕ナイト云フコトニナッタ時ハどんあモノノデアルカ、隨テ解散ヲ命ズル所ノ效力トアルナラバ、從テ最早聯合集會スルモ宜シイ、往復通信スルモ敢テ妨ダナイ云フモノガナクナツテ仕舞フモノノデアル、則チ解散ヲ厲行スルト云フコトガ出来ナイモノデアル、然ラバ此解散ヲ命ズルト云フコトモ厲行ヲシナイト云フコトニナルノデアル、既ニ解散ヲ命ズルコトヲ厲行ヲシナイト云フモノデアルナラバ、從テ最早聯合集會スルモ宜シイ、往復通信スルモ敢テ妨ダナイト云フコトニ理窟ハ落込マナケレバナラヌモノノデアリマス、斯ノ如ク論ジ來ル時ニ於テハ既ニ明治二十三年ニ於テ集會條例ハ集會政社法トナリ、更ニ此成リタル所ノ明治二十三年ノ集會政社法ハ明治二十六年ニ於テ更ニ再度ノ改正ヲ經タト云フコトデゴザリマスルガ故ニ、最早此明治十五年第七十號ノ布告ハ今日ニ於テ無制裁ノモノデアル、無制裁ノモノデアルガ故ニ、是ヲ禁ズル所ノ條項モ從テ是ヲ厲行シナイト云フコトニナルガ故ニ、則チ今日ニ於テハ是ヲ消滅シテ居ルモノノデアルト云フコトハ古今勵カスベカラザル法理ノ上ヨリ考ヘテ、則チ斯ノ如クナルモノノデアルト云ハナケレバナラヌ、故ニ諸君ニ於テモ茲ニ御考ヘアル所アツテ、ドウカ此事ニ御同意アラムコトヲ望ム、私ハ決シテ此七十號布告ヲ廢スルコトガ好マスト云フヲ以テ反對スルノデハナルニ府縣會議員ガ聯合集會往復通信シテナラヌト云フヤウナコトハ頗ル要アツテシタカ容易ニ其理由ヲ見出スコトガ出来ヌヤウナ布告デアリマス、私ハ此廢止ハ既ニ遅シト思フ、又是等ノ事ニ附イテ弊害アル時ハ集會及政社法モアリマス、又小西甚之助君ノ演説モアルニ於テオヤ、因テ即決セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 吉本榮吉君ハ讀會ヲ省略シテ決議ヲ致シタイト云フノ〔委員附託〕ト呼フ者アリ

○高橋安爾君(百六十五番) 私ハ其說ニ賛成致シマス

(「即決贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 讀會省略三御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ滿場異議ナシト認メテ讀會ヲ省略致シテ決議ヲ採リマス、該案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 起立者多數

○議長(楠本正隆君) 大多數一次ハ第四ニ移リマス

#### 第四 明治二十二年法律第二十八號中削除法律案(西田忠之君外三名提出)

#### 第一讀會

○吉本榮吉君(六十四番) 直ニ三讀會ヲ省略シテ……

(「モウ済ムダ済ムダ」ト呼フ者アリ)

(林田書記官朗讀)

明治二十二年法律第二十八號第一條但書ヲ刪除ス

(加賀美嘉兵衛君演壇ニ登ル)

○加賀美嘉兵衛君(二百七十五番) 本案ノ説明ハ極テ簡單ノコトデ足リルコト、存ジマス、則チ本案ハ明治二十二年法律第二十八號ノ其一條ノ但書ヲ刪除スルト云フコトデ、其但書ハドウ云フコトデアルト云フハ則チ議會ノ告訴ヲ待クテ其罪ヲ論ズルト云フ趣意ニ過ギナイ、此一條ノ本文ハ御承知ノ通り法律ヲ以テ組織シアル議會ニ對シテ公然タル誹謗侮辱ヲ加ヘタ場合ハ是ヲ罰スルト云フ條デアル、是ヲ罰スルト云フコトデアルケレドモ、其害ヲ蒙ッタ議會自ラガ是ヲ告訴セナケレバ是ヲ罰シナイ、則チ告訴シタル場合ニ是ヲ罰スルト云フ但書ニナッテ居ル、其但書ヲ除イテ議會自ラガ告訴シナイト雖モ是以テ成立シテ居ル議會ヲ保護スルノハ則チ社會ノ公安ヲ保護スル所以デアル、社會ノ公安ヲ保護スルト云フコトハ則チ社會ニ代シテ犯罪ノ起訴權ノアル檢察官が當然行フベキ職務デアル、其害ヲ蒙ッタル者自ラガ訴ヘテ來ルト云フコトヲ待ツ必要ハナインデアル、若シ此但書ヲシテ存在セシメタナラバ議會ハ其時或ル場合ニ是ヲ告訴シナイトガアルト假定シナケレバナラヌ、其告訴シナイトキニハ議會自ラガ告訴スル必要ガナインコト、認メラレタナラバ議會ハ不足ヲ自ラ訴ヘヌデアラウケレドモ、社會ノ公安ヲ害セラレテ其公安ヲ害セラレタモノヲ保護スルコトヲシナカツナラバ、則チ社會ノ公安ヲ害セラレタリト云フ所ノ被害者ノ地位ニ立シテ保護スルコトガ出來ヌト云フ不便ヲ感シナケレバナラヌ、則チ告訴ノタメニ議會ハ公安保護ノ中間ノ蘿トナツテ公安保護ノ手續ヲナスト云フコトヲ妨害スルノ結果トナル、且ツ此法律ノ中ノ二條三條等ヲ見マシテモ議會が公然タル誹謗侮辱ヲ受ケタル場合ニハ議員其人ノ告訴ヲ待タズ直ニ檢察官へ起訴スルト云フコトニナッテ居ル、議員一人ノコトニ關スル被害ト雖モ本人ノ告訴ヲ待タナイノニ、ソレヨリ重々其議員ヲ以テ組織サレタル公ノ議會が自ラ告訴シナケレバナラヌ、從テ又人トニナルト、權衡上當ヲ得ナイト云フコトガ一ノ理由デアル、又刑法ノ中ニ定テアル所ノ則チ官吏ノ職務ニ對シテ公然誹謗ヲ加ヘタル者ハ本人ノ告訴ヲ

待タズトモ是ヲ罰スルト云フコトニナッテ居ル、ソレハドウ云フコトデアル

カト云フト則チ官吏ハ社會ノ公務ヲ執ル、其公務ヲ執者ニ向クテ侮辱ヲ與ヘルカラ是ヲ罰スル、議會ガ法律ヲ以テ組織サレテ社會ノ公職ヲ行フト其間ニ權衡ハナイ苦デアル、是ガ則チ本案ヲ提出スル理由デアル、併ナガラ本案ハ此書イテアル所ノ文字ハ極ク簡單デアルケレドモ明治二十二年法律第二十八號ハ數條カラ成立シテ居ル、數條ニ關係ヲ及ボスコトガアルカモ知レマセヌ、又刑法等ノ權衡ガアルト云フコトデ若シ是ヲ慎重ニ議サナケレバナラヌト云フ必要デ特別委員ニ付託スルト云フコトヲ可ナリトスルナラバ、本員ハワレデモ宜シイ、即決スルト云フコト、特別委員ニ付託スルト云フコト、ドチラニナッテモ宜シイ

○議長(楠本正隆君) 頃ニ發言通告ガ六人ゴザイマス——草刈親明君

○角田眞平君(二百十六番) 若シ是デ議論ガアルナラバ格別委員付託ト云フ說ガ出ルト討論ハ必要ハナイト思フ、委員付託ヲ希望シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

(田中正造君「討論終結委員付託」ト呼フ)

(草刈親明君演壇ニ登ル)

○草刈親明君(二百二十八番) 私ハ此案ニ就キマシテ絶對ノ反対デアル此案ハ提議者ノ御意見ニ依リマスレバ至テ輒キモノハヤウニ御演説デアリマスガ、其事ノ關係シマスルハ實ニ重大ナ話デアル、私ハ明治二十八年ノ今日ニ於テ斯様ナル議案ガ衆議院ニ現レ様トハ夢ニモ思ハヌノデアル、滿場諸君、此議案ガ可決セラレテ法律トナリマシタナラバ其弊害ト云フモノハドウ云フモノデアルカ御一考ヲ煩ハシタク存ジマス、私ハ此案ニ對シテハ曩ニ云フ通り絶對的ノ反対デゴザイマス、則チ第一ニ此提案ト云フモノハ非立憲的ノ甚シキモノデアル(「のーー」ト呼フ者アリ)のージヤナイ、第二ニ此法律案ガ法律ト相成リマスレバ其弊害ト云フモノハ云フベカラザル大ナルモノデアル第三ニハ此提案ト云フモノハ誹謗罪ノ成立ニ關スル犯罪ノ原則ト云フモノヲ知ラナイノデアル、此三ノ大要ニ依シテ私ハ反対致スノデアル、此議案ニハ先輩諸君モ或ハ提出者トナリ或ハ贊成者トナシテ御連名ニ相成シテ居リマス、思フニ是等先輩諸氏ハ所謂盲目判ヲ押シタノデハナカラウカト信ズル、(「其通り」ト呼フ者アリ)但書ヲ刪除セムト致シマスル其法律ノ第一條ニハ、申ス迄モナク法律ヲ以テ組織シタル議會ニ對シテ公然誹謗侮辱ヲシタルモノハ云タトアツテ、其但書ニ此罪ハ被害者ノ告訴ヲ待シテ御連名ニ相成シテ居リマス、思フニ是等先輩諸氏ハ所謂盲目判ヲ押シタノデハナカラウカト信ズル、(「其通り」ト呼フ者アリ)但書ヲ刪除セムト致シマスル其法律ノ第一條ニハ、申ス迄モナク法律ヲ以テ組織シタル議會ニ對シテ公然誹謗侮辱ヲシタル法律ヲ改正致シマシテ但書ヲ取リマシタナラバドウ云フ風ニナルカ、私ハ申サ味デ、則チ告訴人ノ告訴ヲ待シテ云フコトヲ書イテアル、然レドモ凡ソ誹謗罪ナルモノハ元ニ親告罪デゴザイマス、併シ其理由ハ追シ申述ベマス、此法律ヲ改正致シマシテ但書ヲ取リマシタナラバドウ云フ風ニナルカ、私ハ申サヌデモ分ラウト思フ、抑シ立憲制ノ下ニゴザイマシテ申ス迄モナク立憲制ノ年ヲ重ヌルト共ニ言論ノ自由ト云フモノハ擴張セナケレバナラヌ、從テ又人民ノ私權ト云フモノヲ保障スルノ考ヲ持タナケレバナラヌノデアル、所ガ國ガ進ミ世ノ中ガ進ムニ從ヒマシテ人民ノ政治思想モ盛ニナリマスガ故ニ、人民ハ自ラ議會監督ノ權ヲ持シテ居ルト云フヤウナ考デ、動モスレバ議會ノ議員ニ對シテ若クハ議會ニ對シマシテ隨分自分ノ申シタイコトヲ——述べタイコトヲ述ベルノハ是ハ當然ノ結果デアル、所ガ此人民ノ言フ所ガ自分ノ至誠



レルコトハナイト存ジマスカラ、委員ヲ置イテ調ベラレムコトヲ希望シマス  
〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○議長（楠本正隆君） 委員ハ九名デ指名デスカ

○角田真平君（二百十四番） 六名デ指名デス

○議長（楠本正隆君） 議長ノ指名ヲ以テ委員ヲ置クト云フ、角田君ノ動議ニ  
賛成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長（楠本正隆君） 少數ト認メマス——例ニ依クテ決議ヲ採リマス、該案  
ヲ以テ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

○議長（楠本正隆君） 少數ト認メマス

（拍手起ル）

○議長（楠本正隆君） 明後十四日ノ議事日程ヲ報道致シマス  
（水野書記官長朗讀）

議事日程 第七號 明治二十八年一月十四日（月曜日）

午後一時開議

第一 市制中東京市京都市大阪市ニ設 第一讀會ノ續（特別委員）  
午後一時開議

第二 市制中追加法律案 第一讀會ノ續（特別委員）

第三 古物商取締條例改正法律案（角田真平君外八名） 第一讀會

第四 地租條例第二十條改正法律案（木村誓太郎君外一名提出） 第一讀會

第五 官有財產管理法案（井上彥左衛門君外一名提出） 第一讀會

第六 生絲検査所法案（濱名信平君外三名提出） 第一讀會

第七 水害ニ關スル建議案（首藤陸三君外四名提出） 第一讀會

○議長（楠本正隆君） 今日ハ是ニテ散會

午後四時二十三分散會